

4

原

つ

も

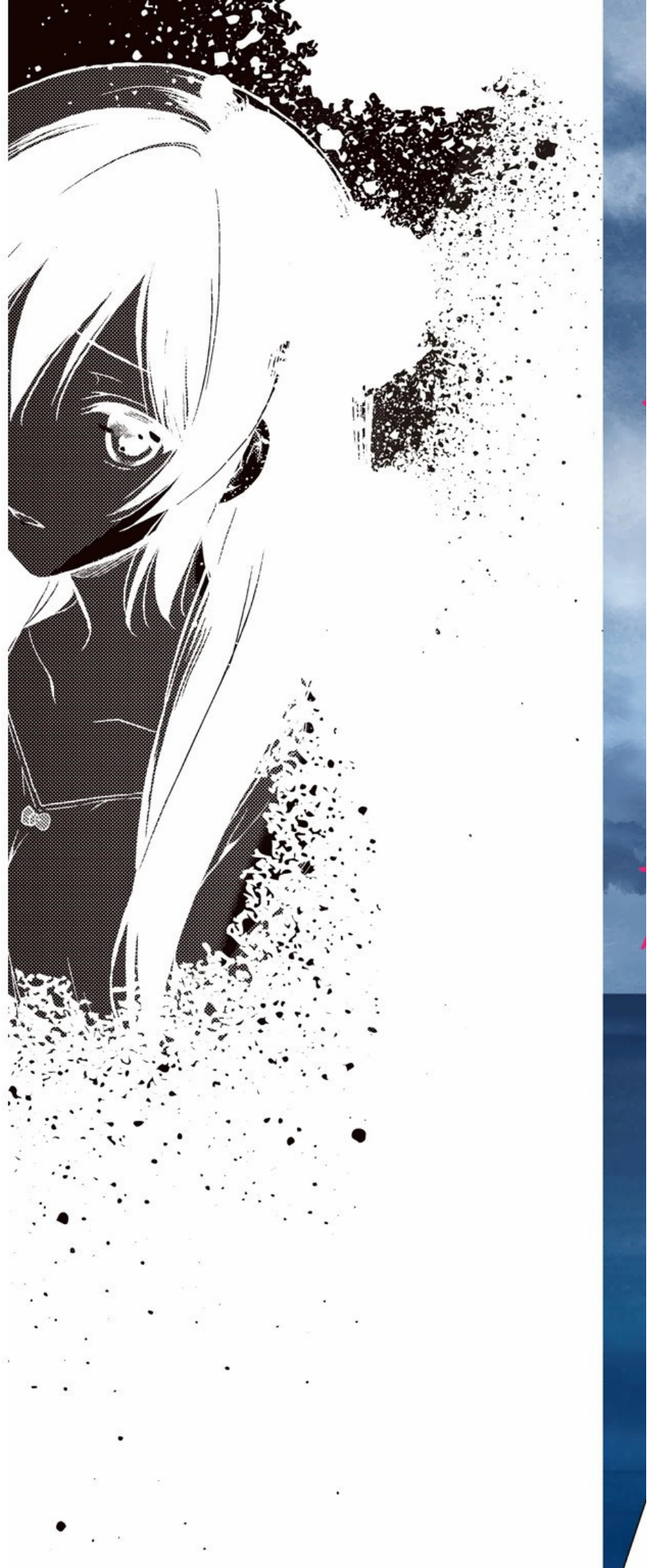
い

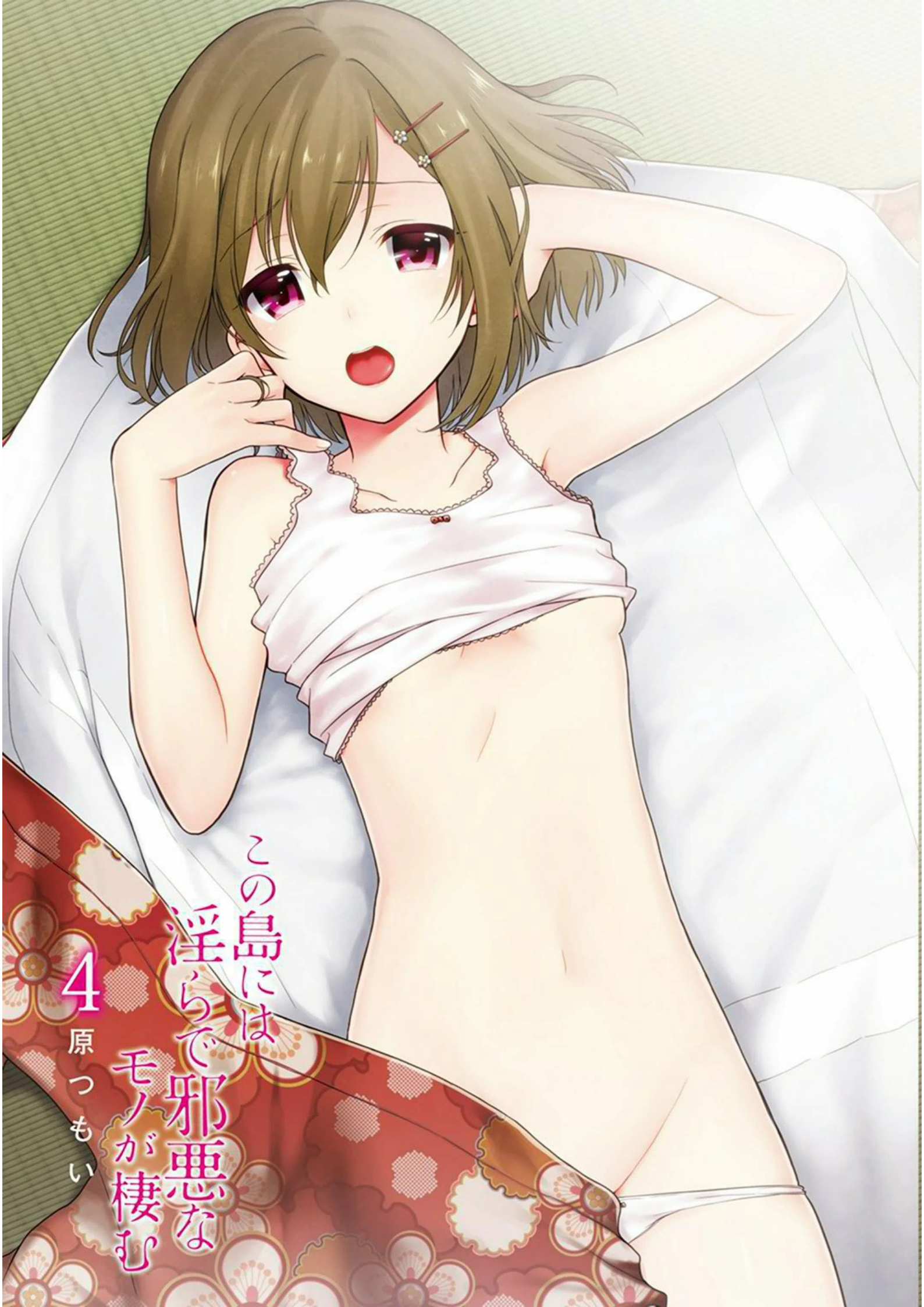
モノが棲む

邪悪な

淫らで

この島には





この島には
淫らで邪悪な
モノが棲む

4

原つもい

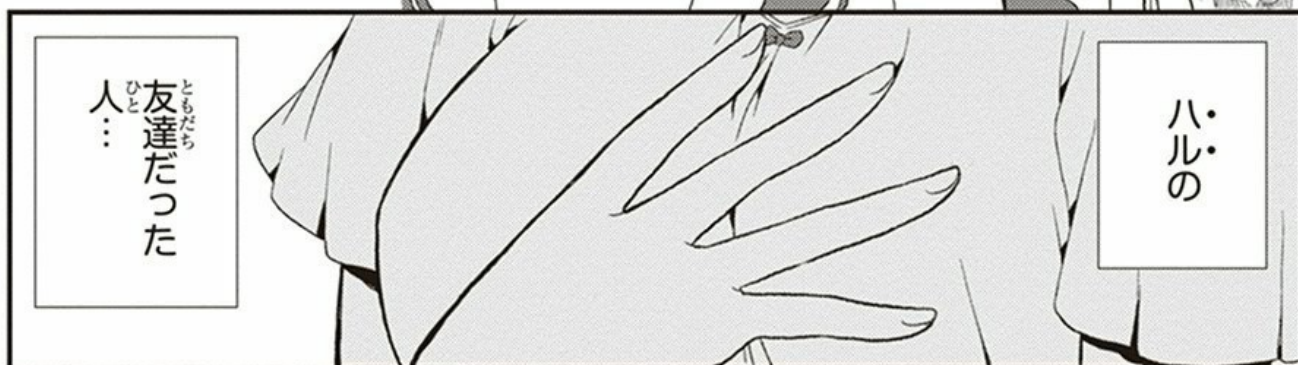
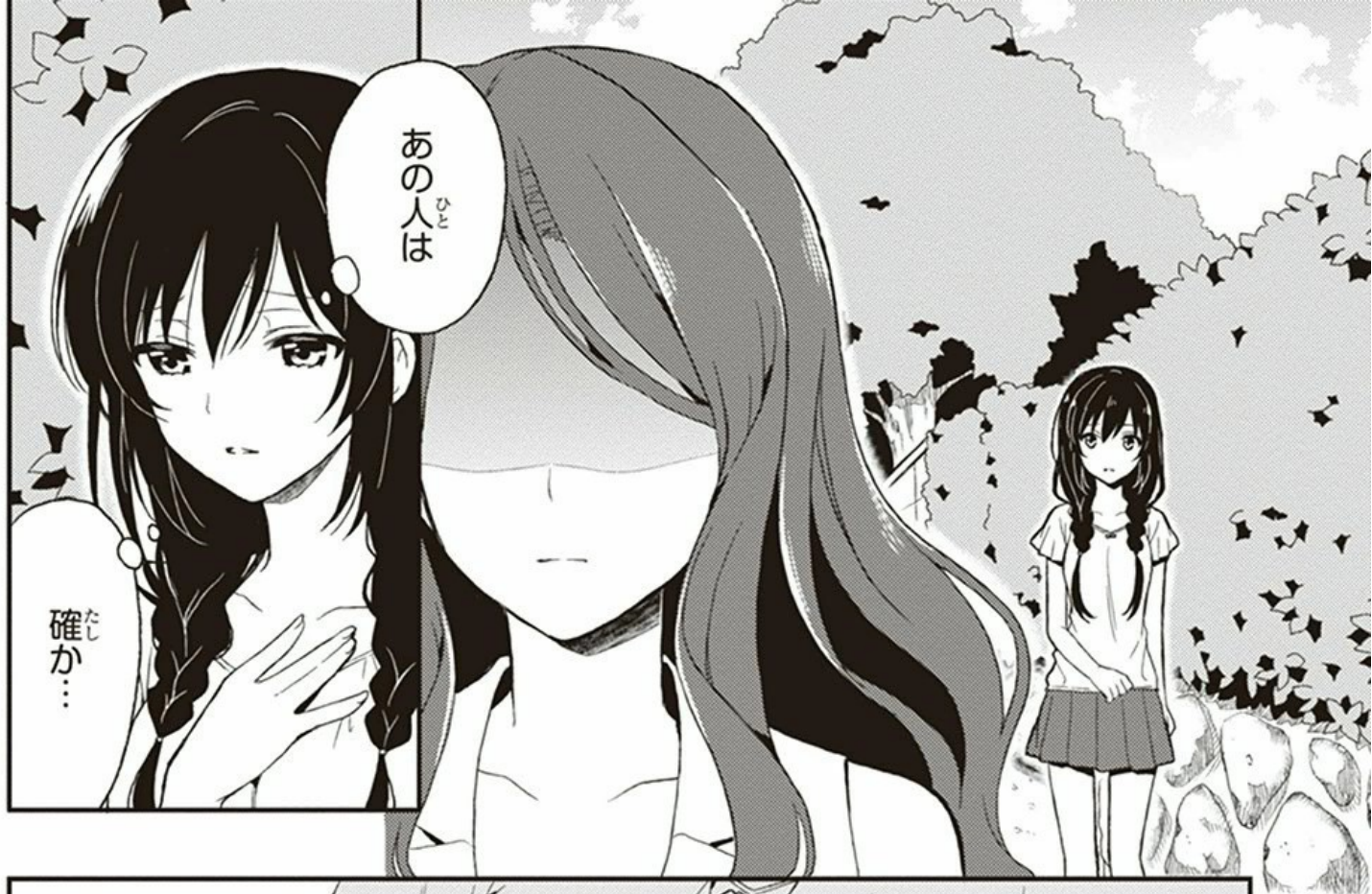


一三三 〇九九 〇七七 〇五五 〇三三 〇〇三

第十九話 第十八話 第十七話 第十六話 第十五話 第十四話

第十四話





天・女・が・
死・ん・だ・？

なんで？

ぎゅんぐん...

何^{なに}が
あったの？

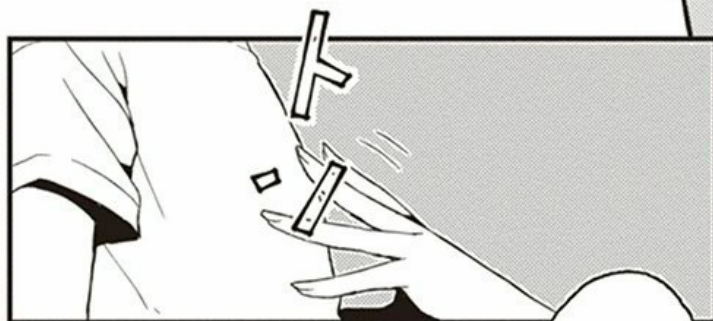
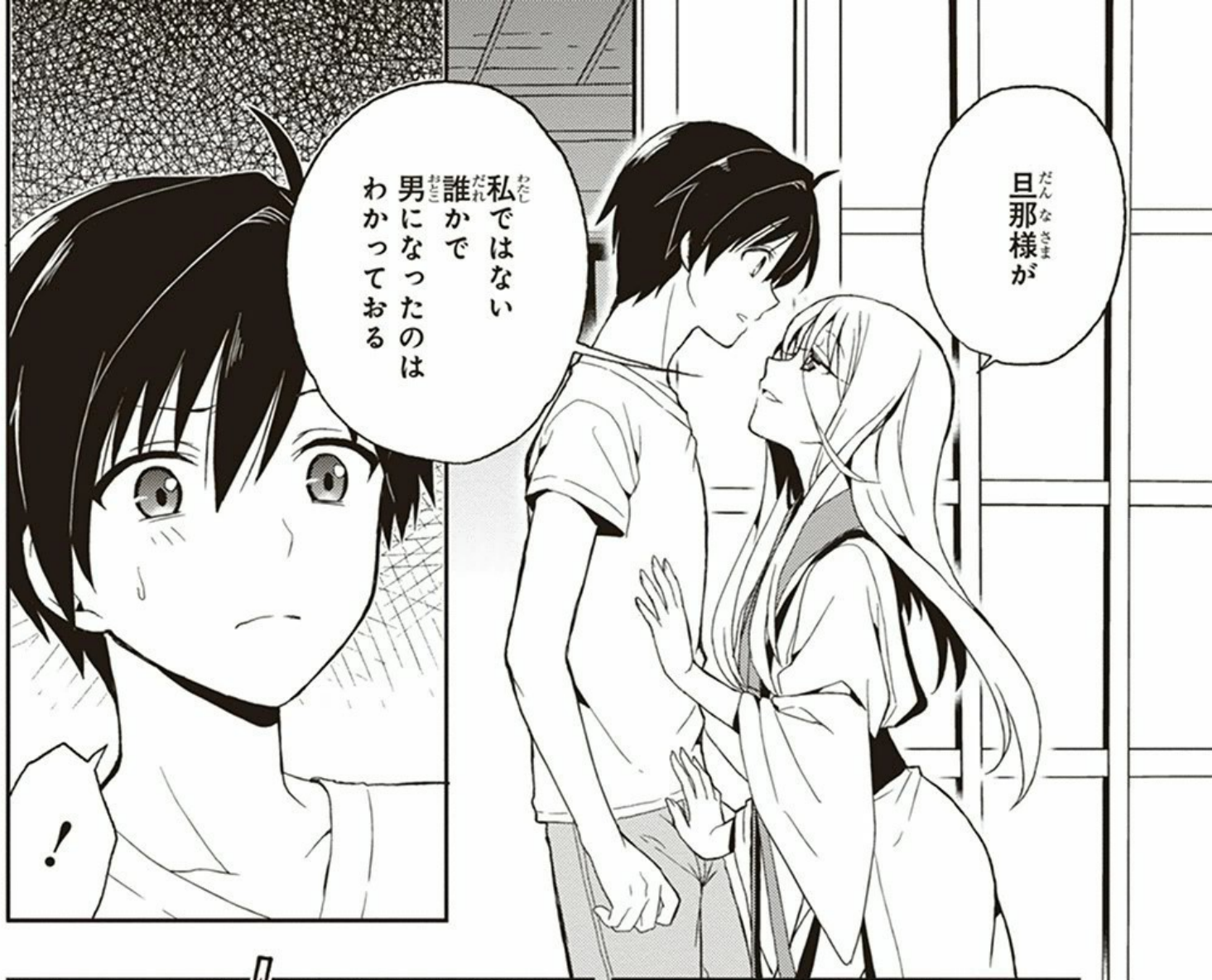
私^{わたし}は

どうすれば
いいの...？















んぐっ!?



んん!?





うう



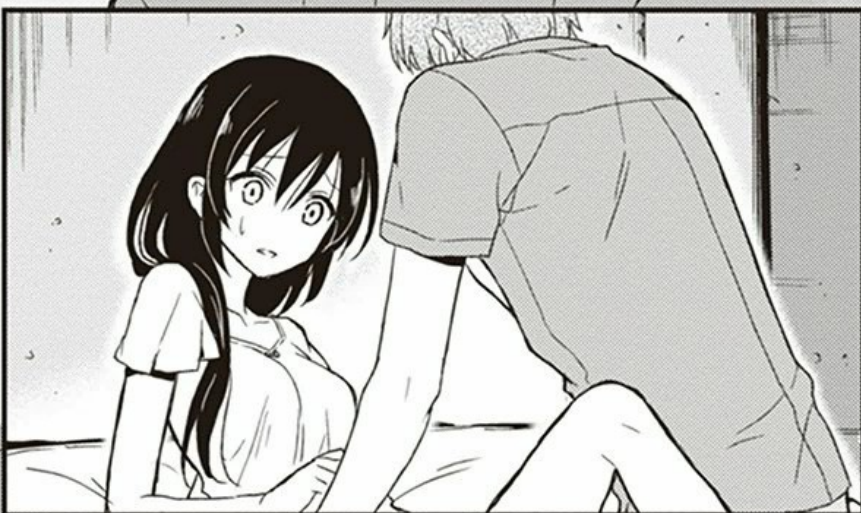
んう
!?







こ
う
い
う
の
も
わ
る
悪
く
な
い
か
と
お
も
思
っ
た
ん
だ
が
な



俺
だ
っ
て
わ
か
っ
た
ら
も
う
お
て
い
こ
う
抵
抗
は
終
わ
り
か

何
だ
？
なん

つまらん

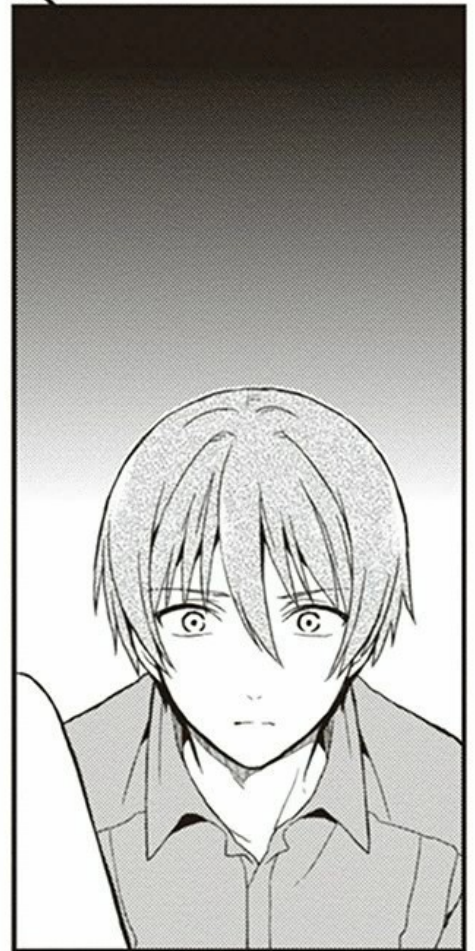


結局
けっきょく

お前は
まえ
俺のところに
おれ
戻ってくるしか
もど
ないんだ













ちようど良い

あの^{ほんと}本土の男に^{おとこ}
けが^{けが}された身体も
取り替えようか



…そうだな



かつ
は



それに
からだか
身体が替われば
おもいだ
思い出すかも
しれないな



あぐ...



からだ
か
身体を替えた
シヨツクで
うしな
失った記憶
きおく
なんだから

ゼエ

ヒュツ

ゴフ











俺^{おれ}は…

殺^{ころ}されそうに
な^なって
夜^{よる}戸^とさんを見^みても
す^すぐに動^{うご}けなかつた



恐^{きょう}怖^ふから
じ^じゃない





俺は
あの時

——興奮
していた…





第十五話





俺^{おれ}はやっぱり

どこか
おかしいのか…？

ぎゅっ

梶^{かじうら}浦くんっ

ちょっと
苦^{くる}しい…

あっ ごめん…

















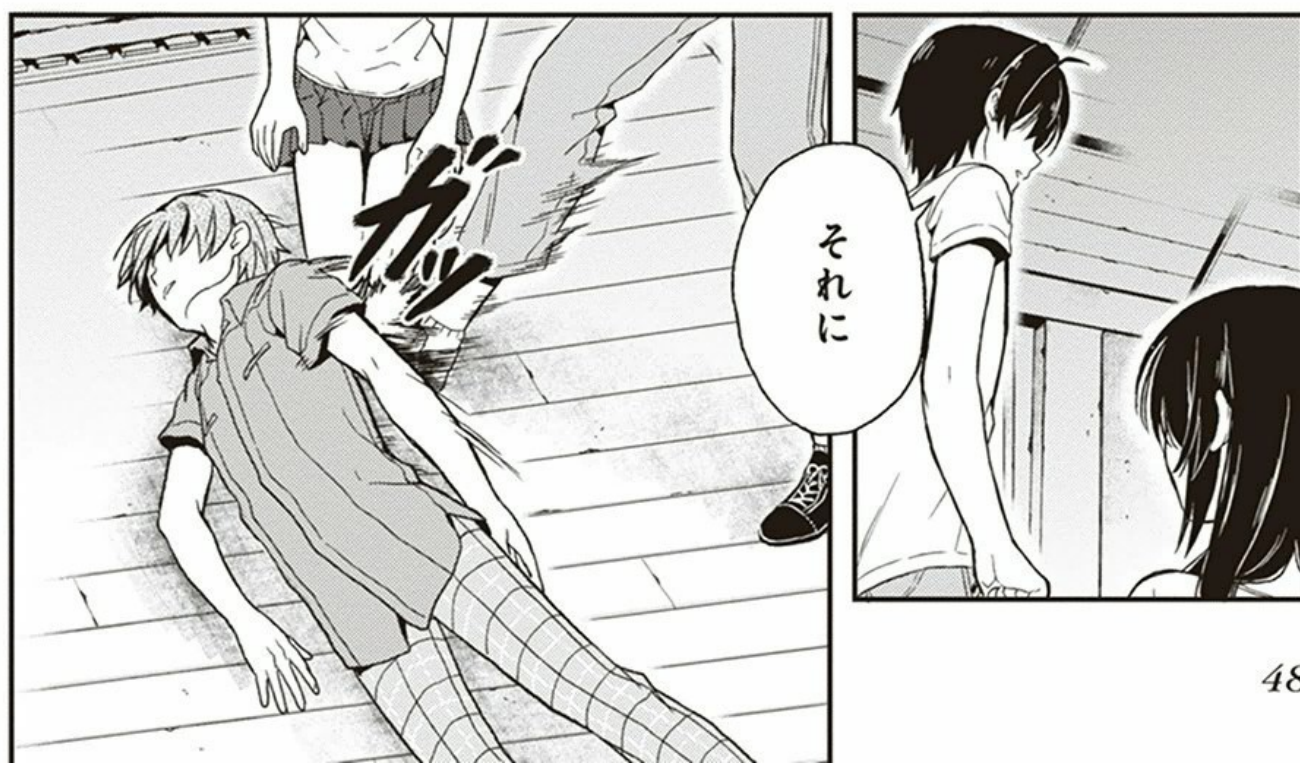












どうせ

また身体を
のりか
替えて
復活するんだろ

…ちが
違う

ぎゅ



おとしゅう
男衆は身体を
か
の
乗
り
替
え
な
い
の

うつ
移
っ
て
い
く
の
は
おんしゅう
女衆だけ…

…は？

どう
い
う
こ
と
だ
よ

男衆は
おどろく

死んだら
からだ
身体と魂の
絆の糸が切れて
それでおしまい

だから男衆は
定期的に身体を
わがえ
若返らせる

一方
いっぽう

女衆は
ふる
古い身体を捨てて
別の身体に乗り替える

この島では^{しま}

男衆と女衆は
別の生き物なの
^{おとしゅう}
^{おんなしゅう}
^{べつ}
^{もの}

——ううん



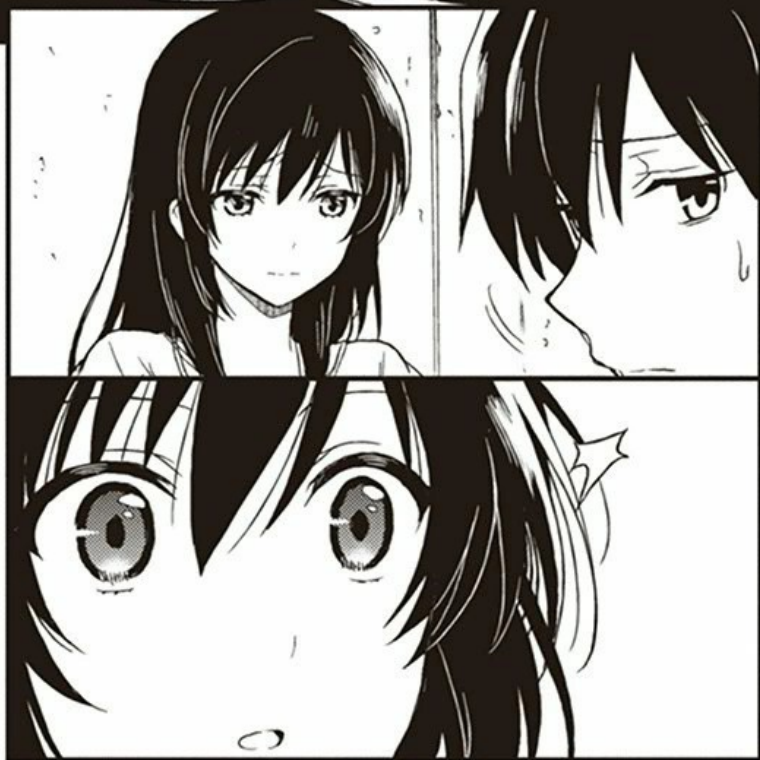
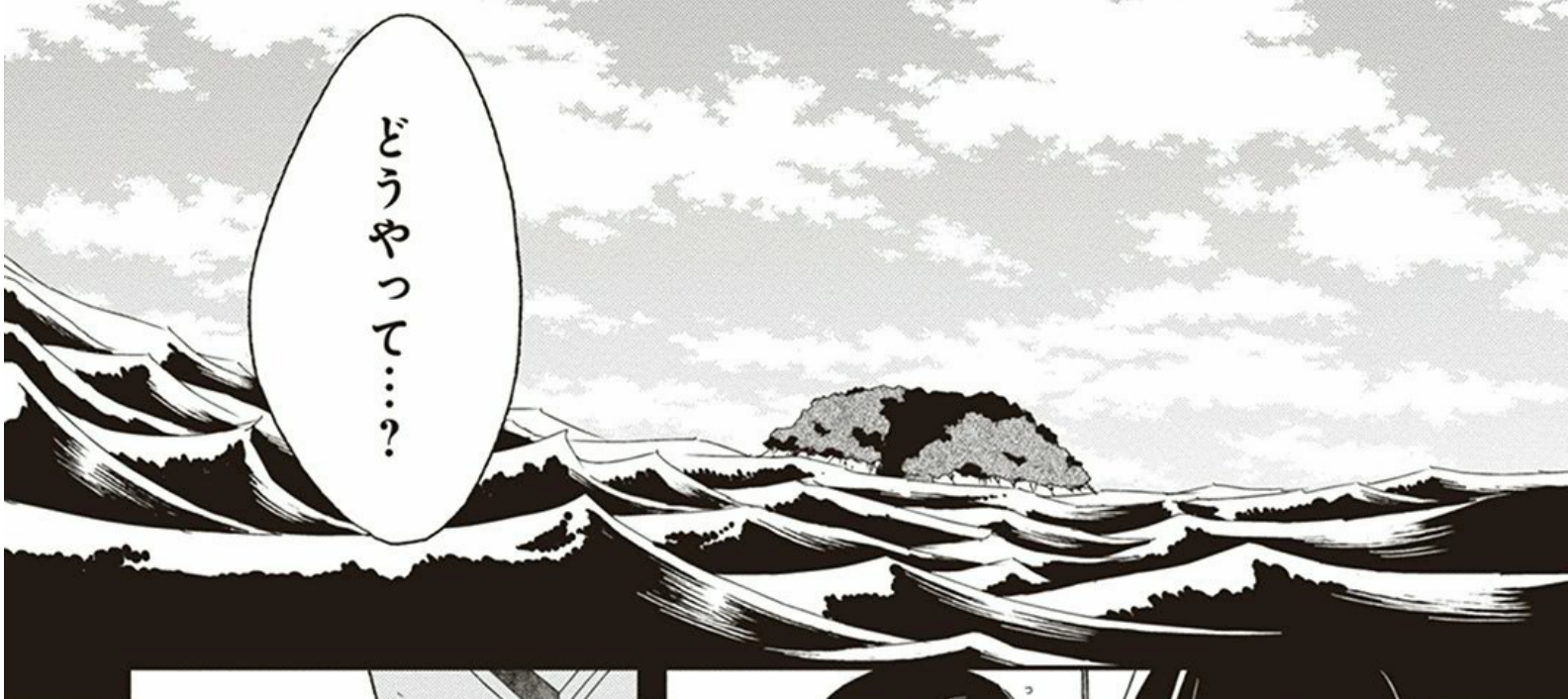




第十六話









それが
来るまでには

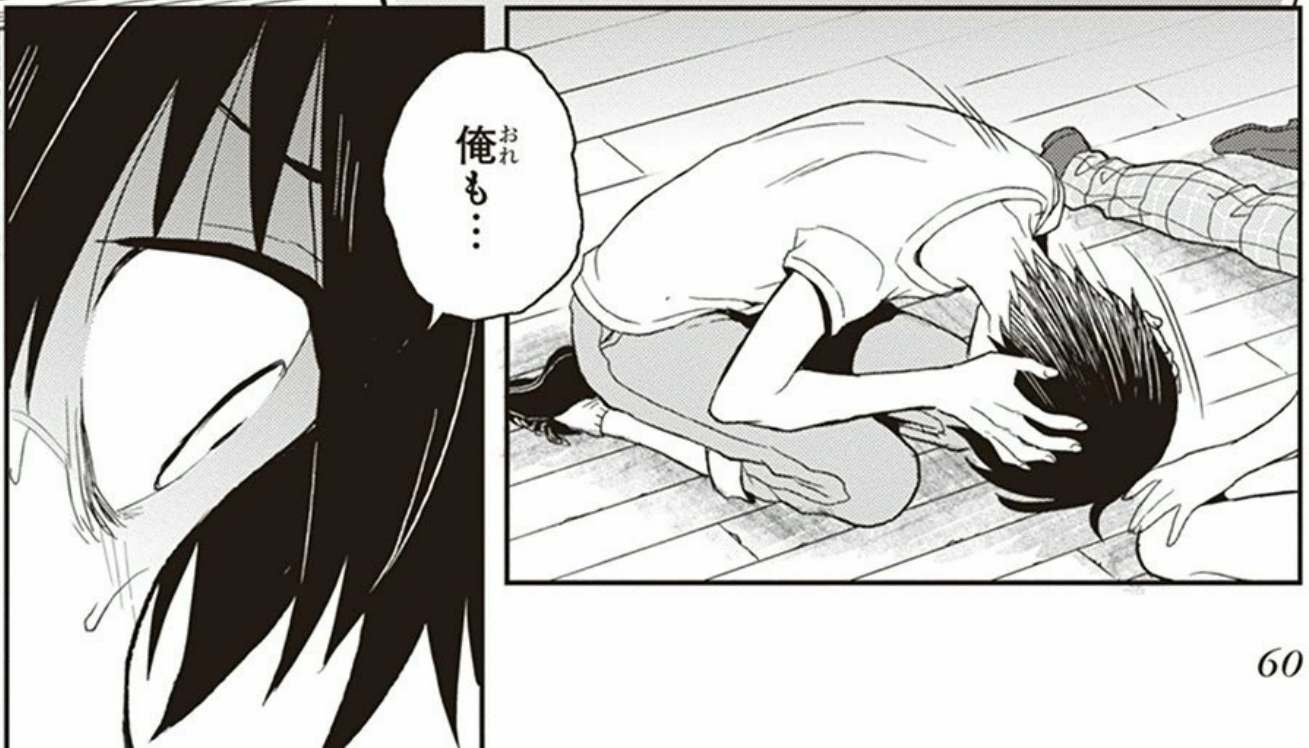
あと二日^{ふつか}も
あるんだろ!?



俺^{おれ}も
その話^{はなし}は聞いて
知^しってるよ…







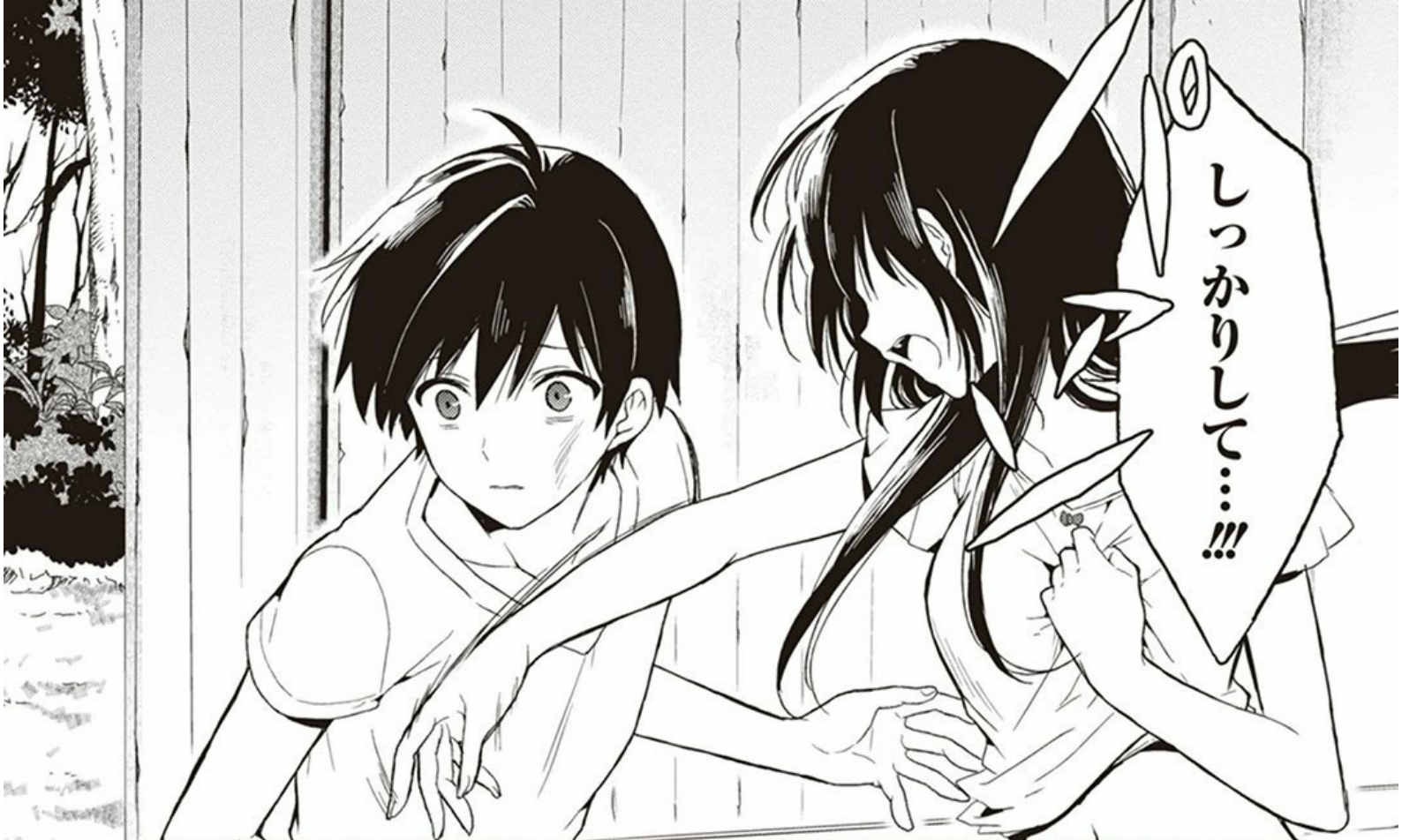










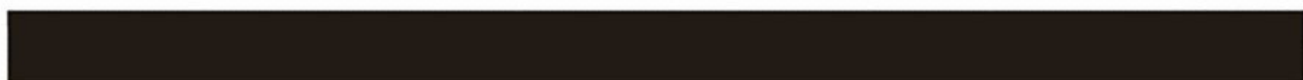
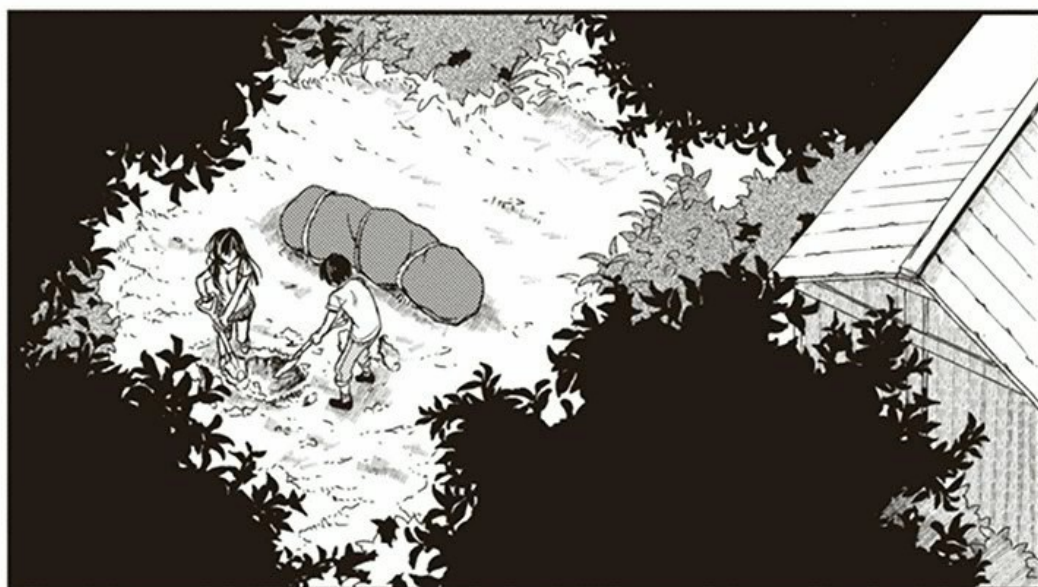




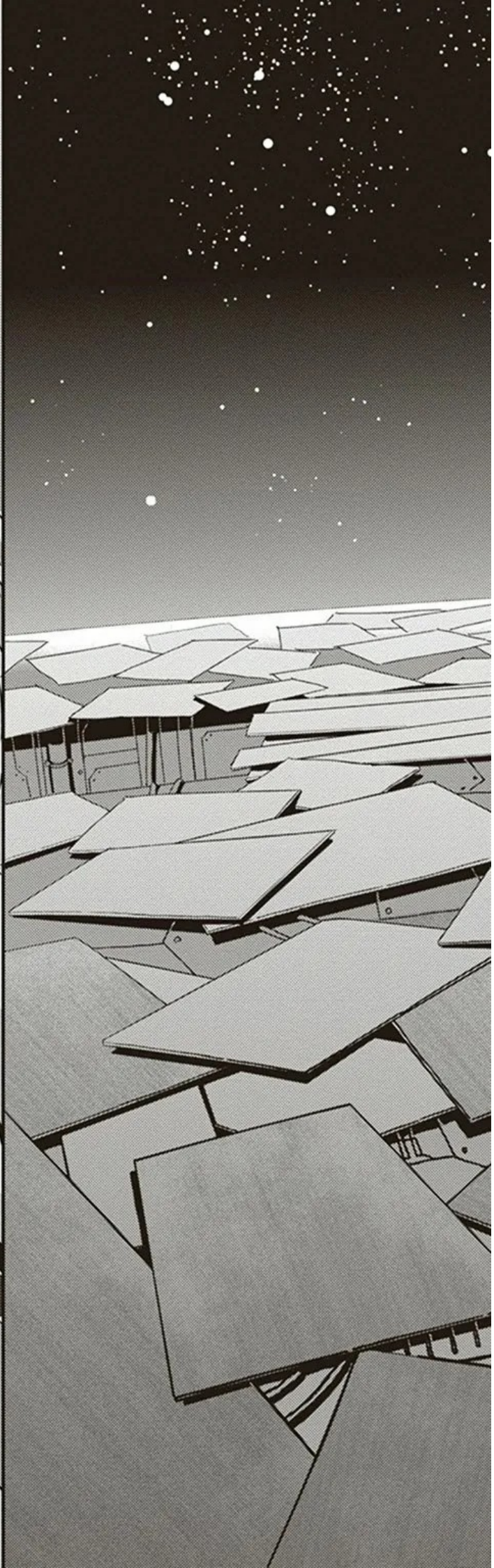
















これを

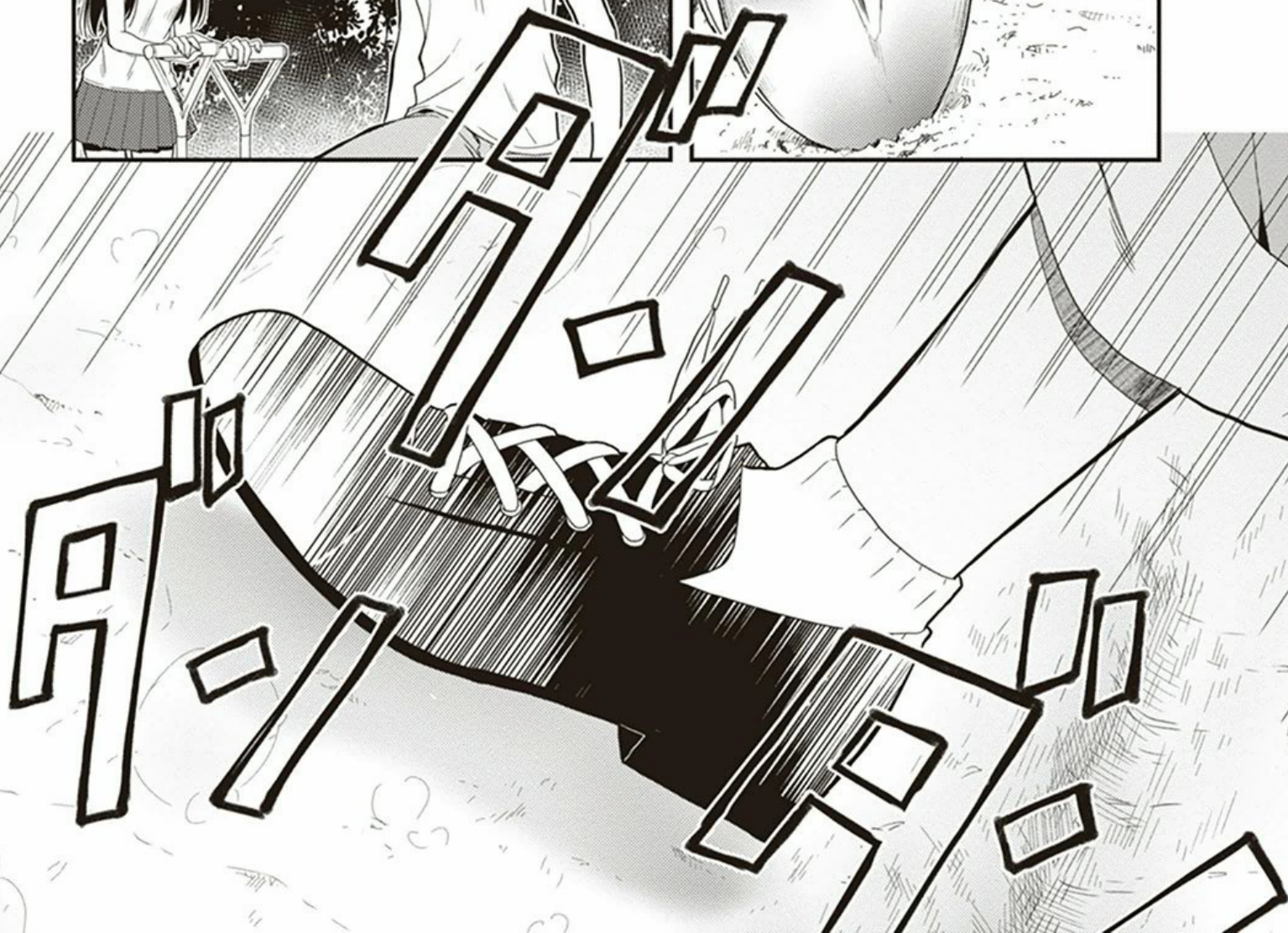


外^{そと}に運^{はこ}び出^だせ



この島には
淫らで
邪惡な
モノが棲む

第十七話













ああ…

そうか

ただ単に
戸籍上の関係が
あるだけだから…

今の兄さんの
母親はたぶん
兄さんにあまり
興味がないと思う



死なないのは
不自然だから

戸籍だけ
誰かの子供として
生まれたことに
してるの



男は若返る
だけで

からだ
身体は
そのまま——
だっけか…





いちばんしいのは
私^{わたし}だったんだと
おも
思う…

だから

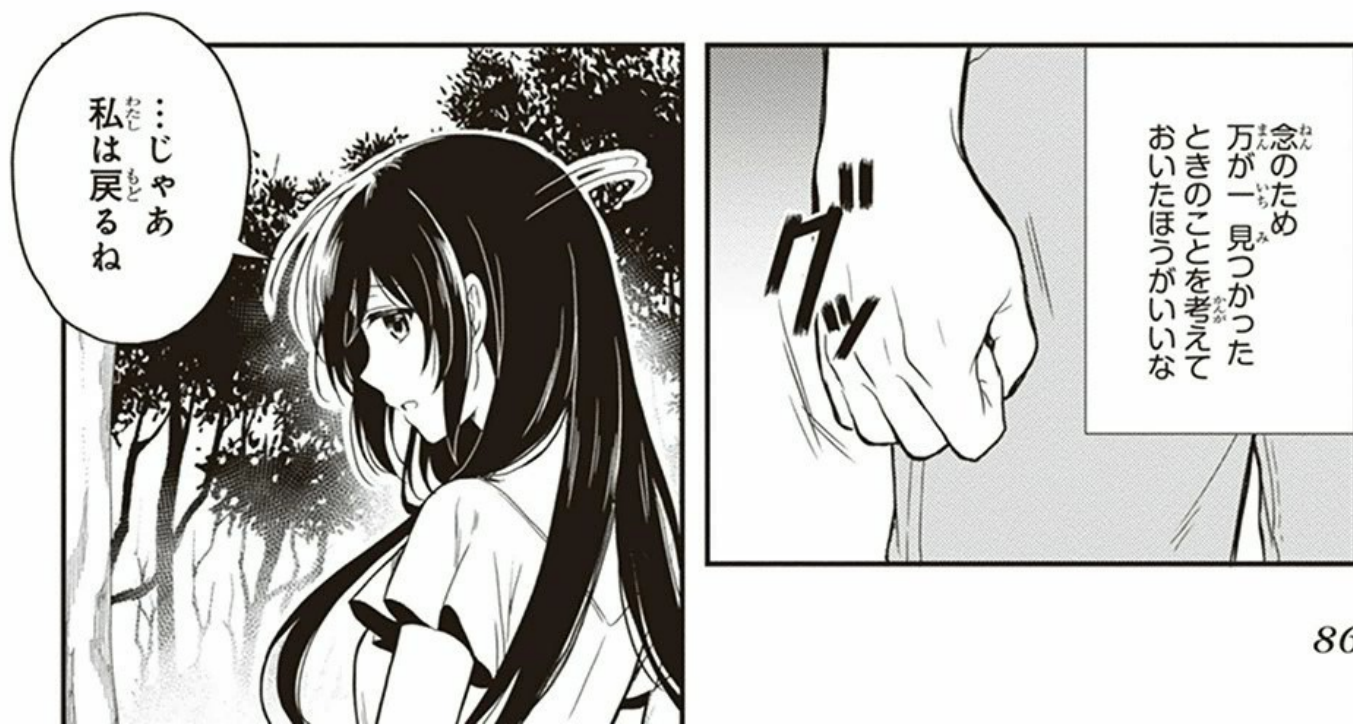
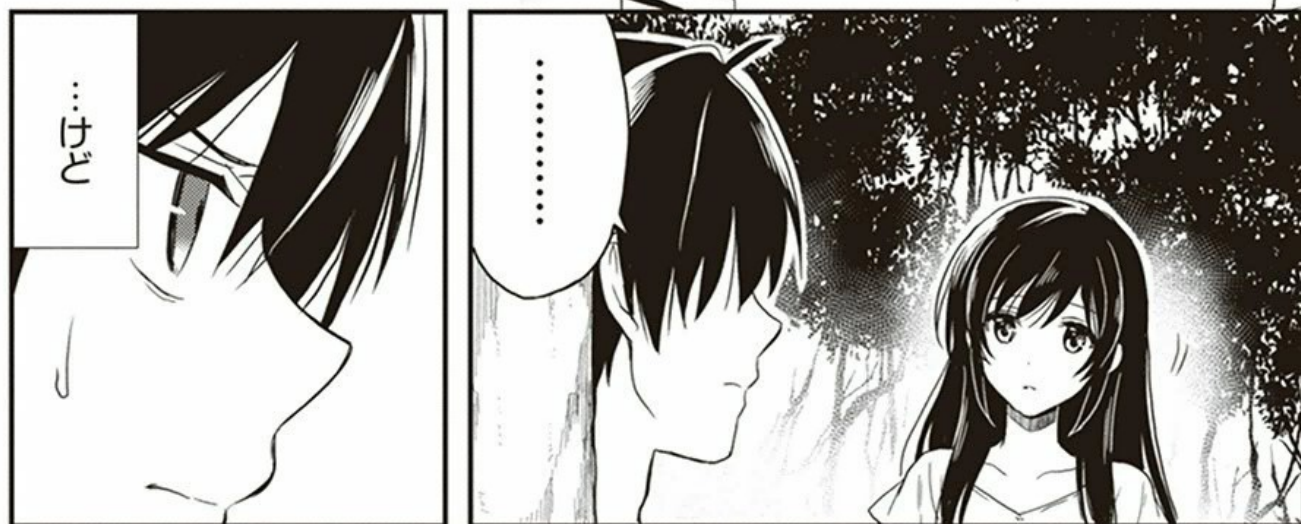
ハル^{いちばん}が一番に
きづ
気付かないと
いけないんだけど



私は
カルマ落ち
だから









ダメだ



夜戸^{よると}さんは
一度^{いちど}俺^{おれ}を
裏切^{うらぎ}った

俺は
おれ

夜戸さん
しんよう
信用したい
……けど

信用
しんよう
できない

今後
こんご
俺が見えない
おれ
ところに行くのは
ゆる
許さない

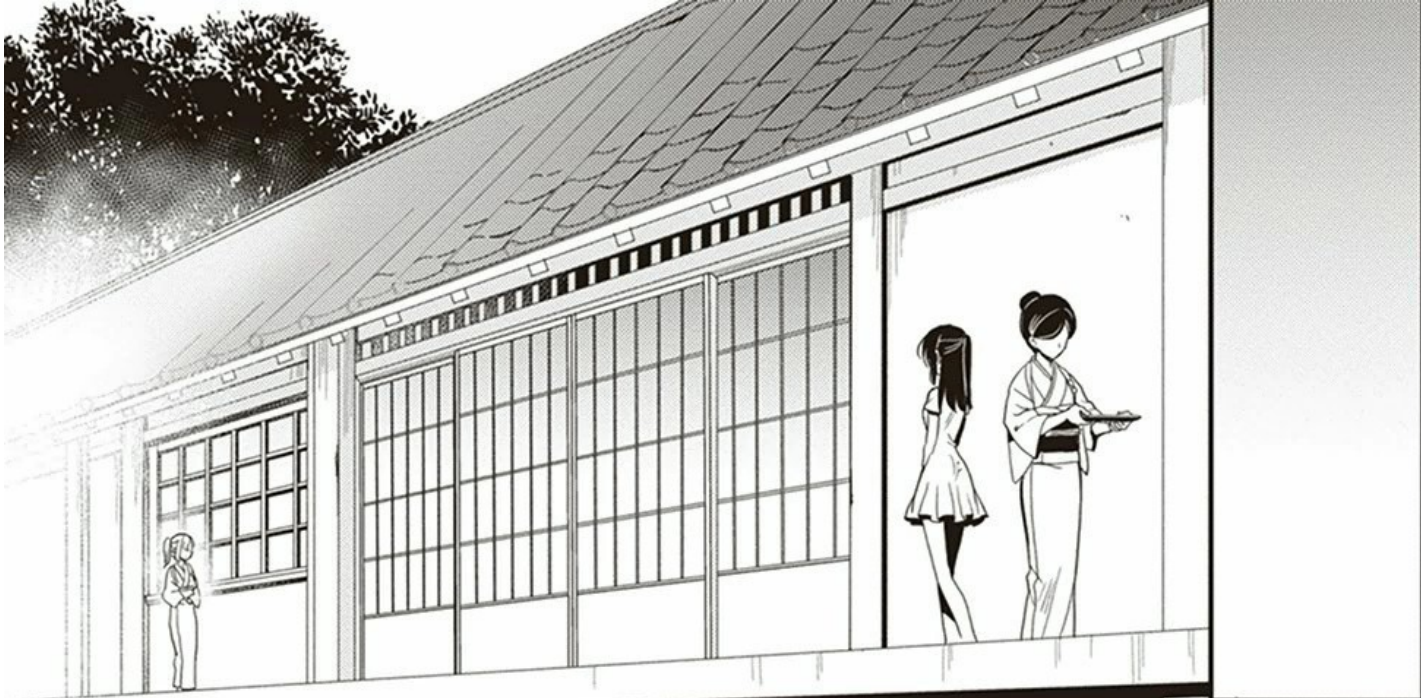
トイレも
風呂も
ふろ





24時間^{じかん}
ずっと一緒だ^{いっしょ}



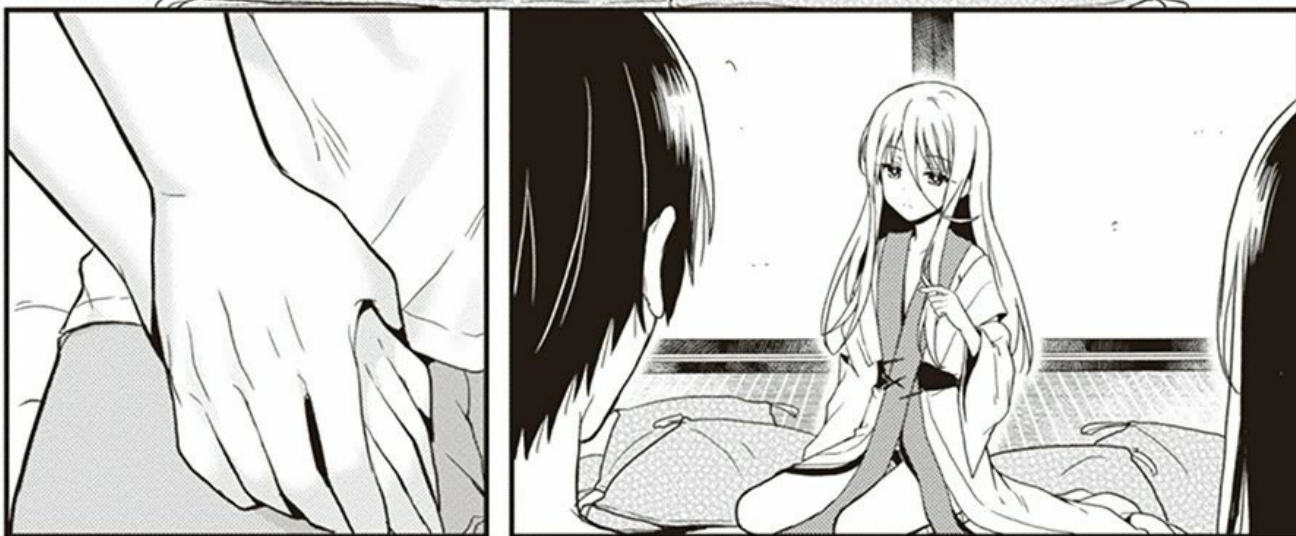


で？
なによう
何用だ



なに
おもしろ
面白い見世物が
始まるだけじゃ

騒がしいな…
何かあったのか？





一週間

そんなことは

また性懲りもなく
愚かなことを
考えたようじゃな



あの魂の
コントロールってのを
夜戸さんに
手伝ってもらって
練習する

それが終わったら
お前の言うことに
何でも従う



お前の良人になってもいいし

お前の仕事を
継いでもいい——

.....

なるほど

...のう

いつしゅうかん
一週間か…

むかし
昔を
おも
思い出すの

おな
同じ試しを経て
こんど
今度こそこやつを
わがもの
我が物にするのも
いっしょ
一興か

ボリ







臆おくしたか？

我がおと
良人となる
ならば
付ついてこい

おいっ

...それとも



...もちろん
行くいさ



この島には
淫らで
邪惡な
モノが棲む

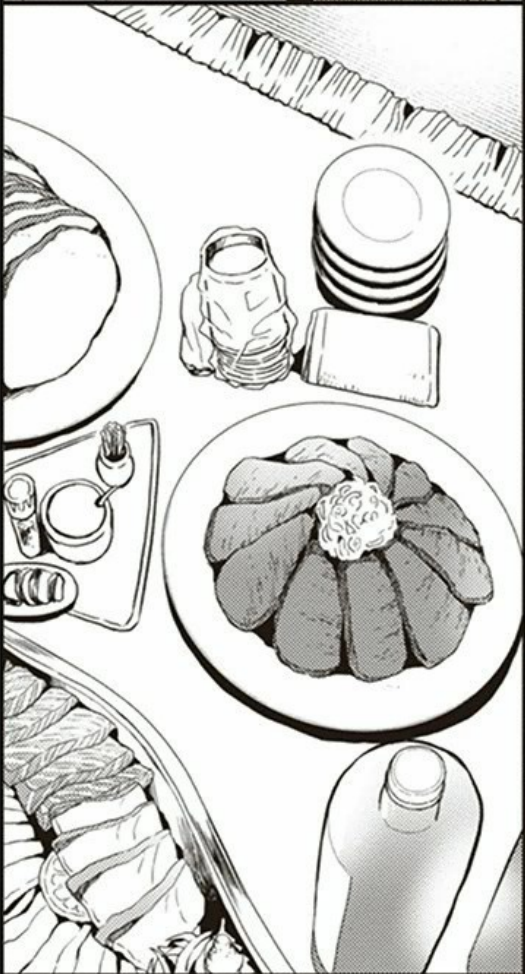
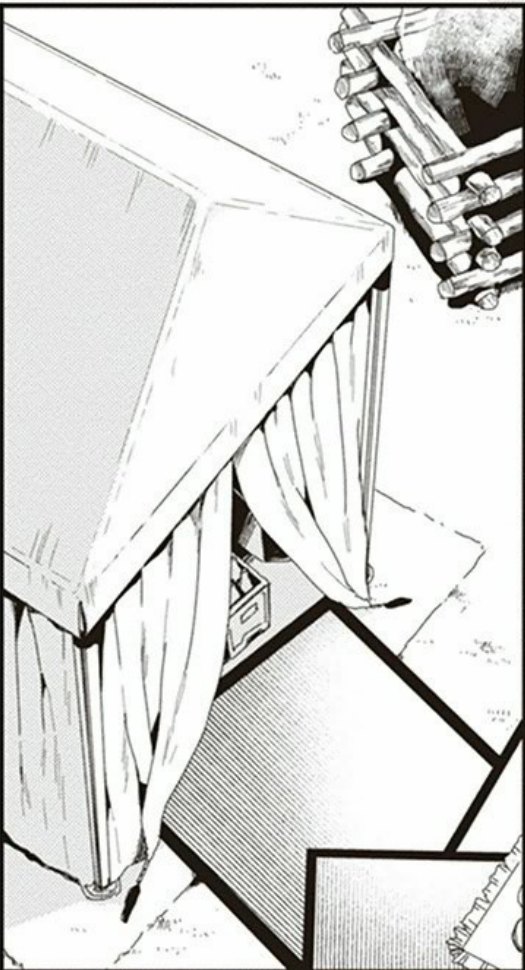
第十八話





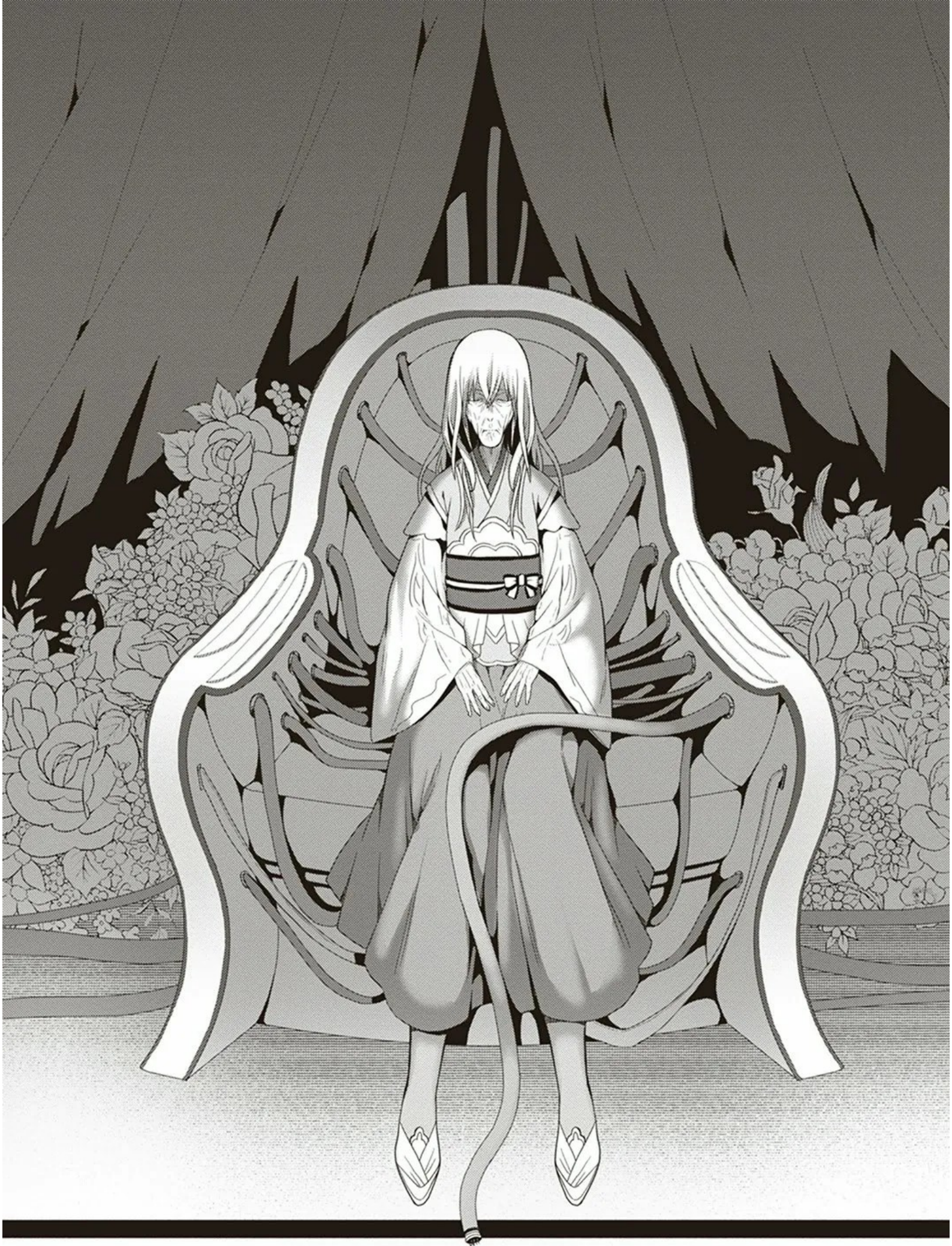
ひ
陽が落ちるまで
よ
じかん
四時間ほどか…

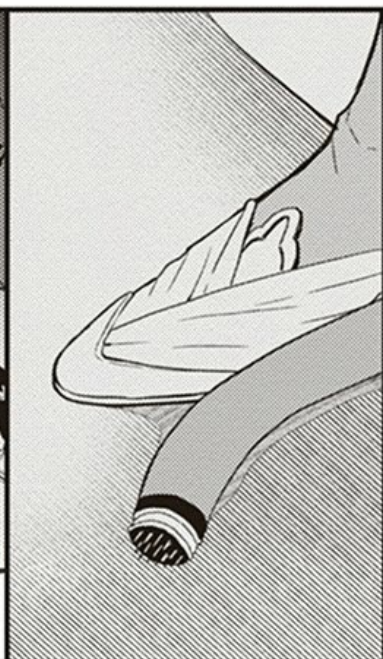
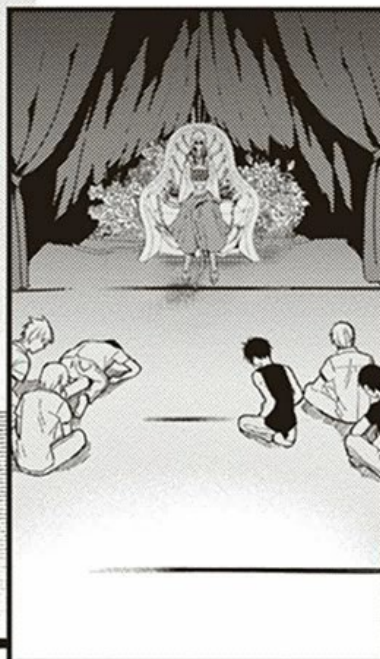




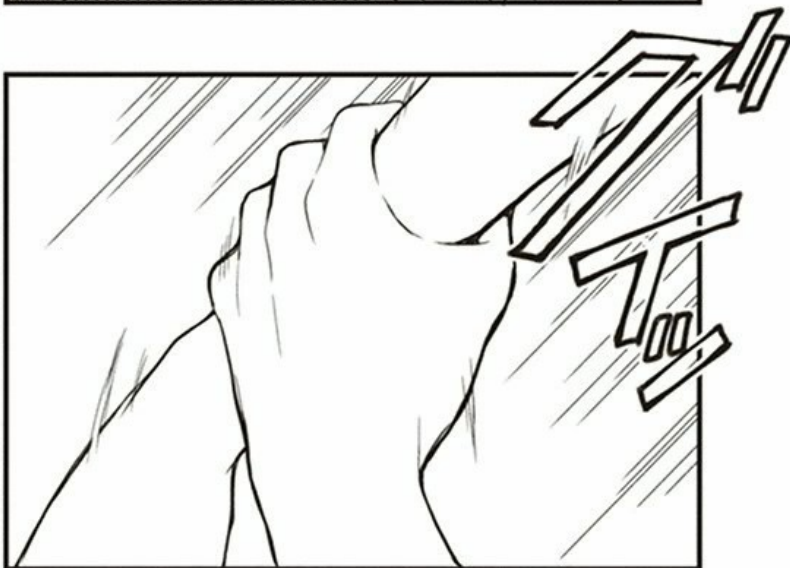


















マハの魂魄を
樹から引き出して
どこぞの器に
入れるのは構わぬ

だが

それを管理
するのは
私じゃ

とな

マハに勝手に
されると
私が困る

それは

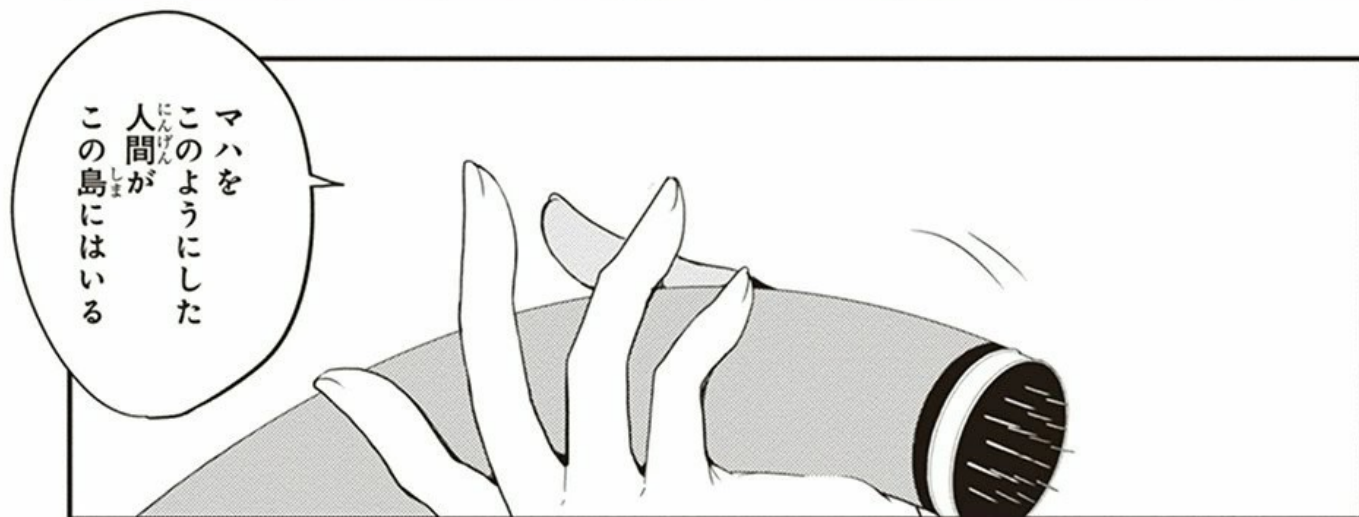
しかし…

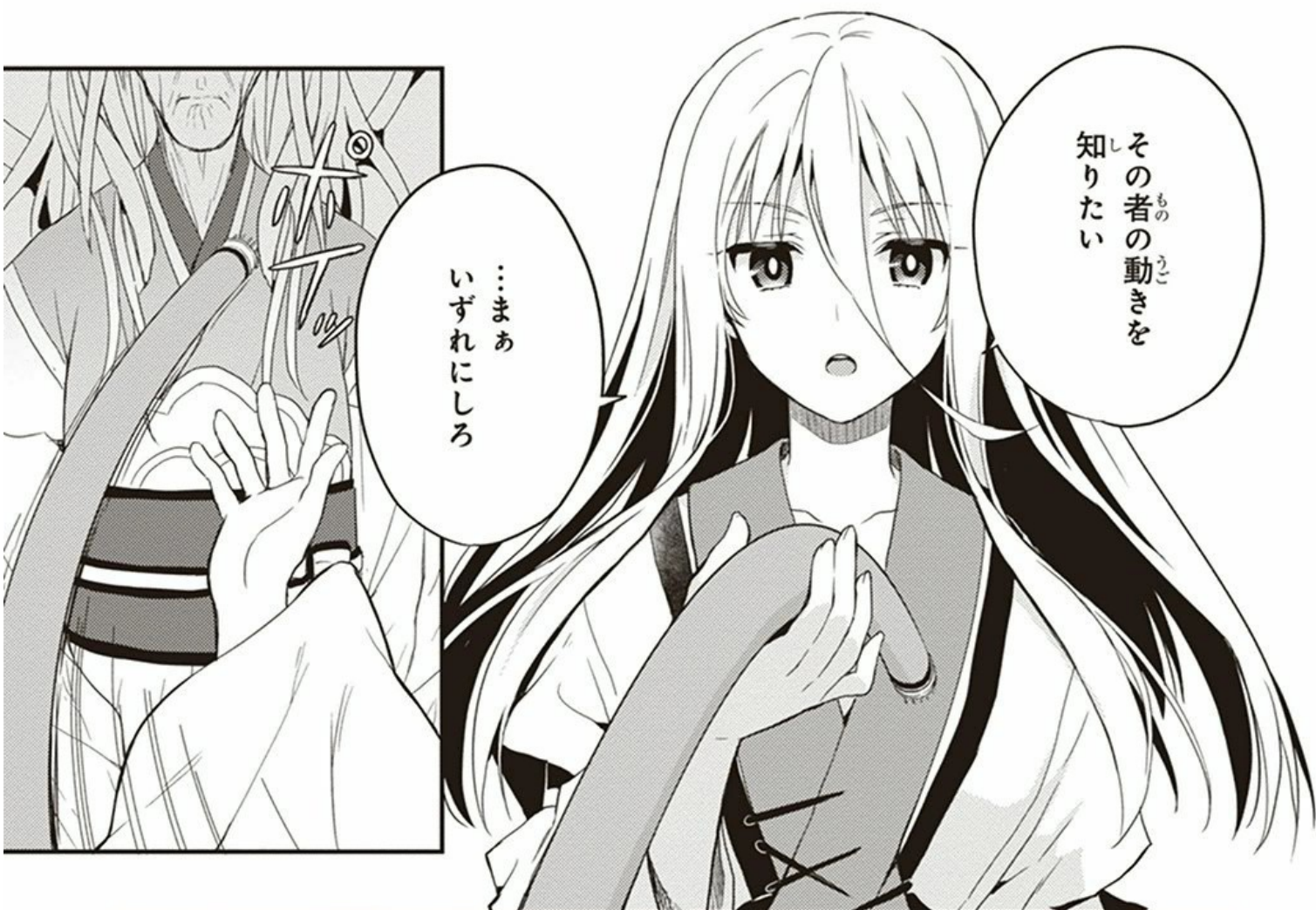
どうじゃ？
旦那様よ

これを見て
何か
思い出さぬか？









その者の動きを
知りたい

…まあ
いずれにしろ



我が儀式により
マハが舞い戻れば
犯人は知れるの
だがな















あの夢…
何か関係が
あるのか？



夜戸さんは
何か知ってる
だろうか？

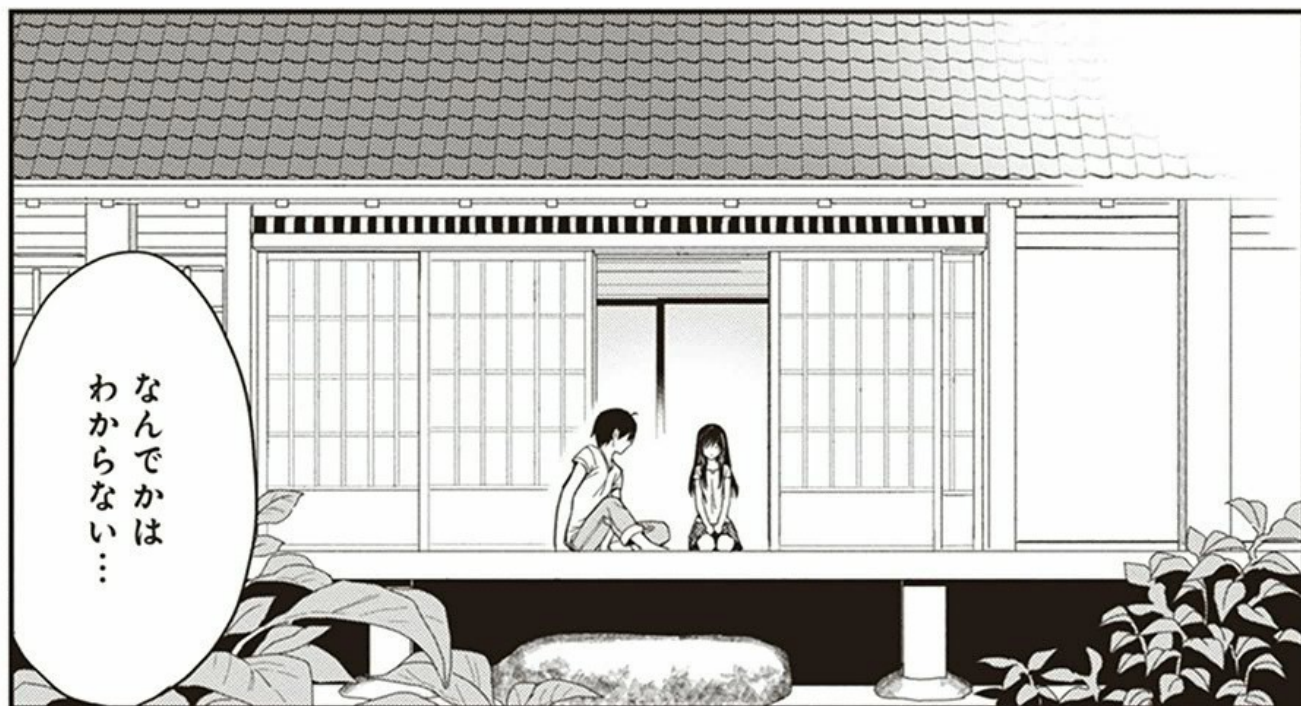


…どうして
知りたいの？



さっきの
年寄りの死体は
何者なんだ？

なあ



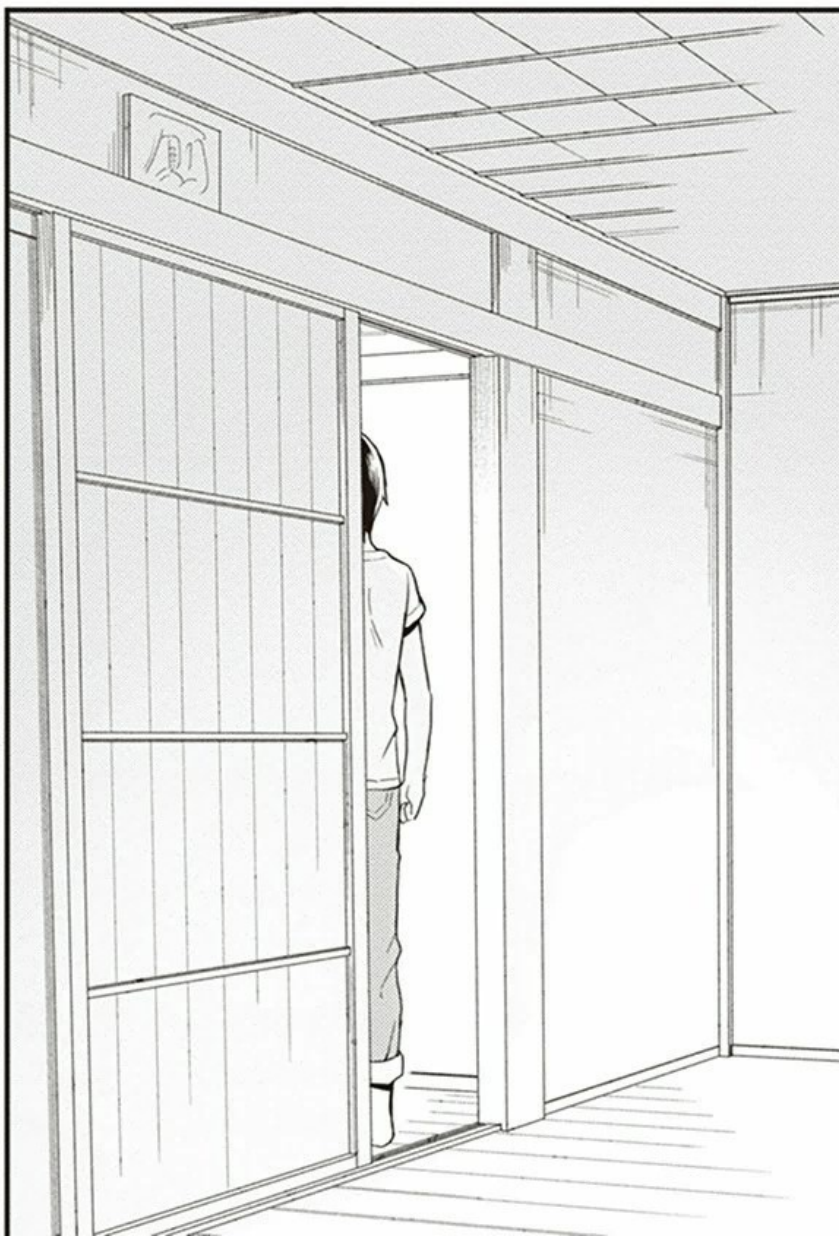
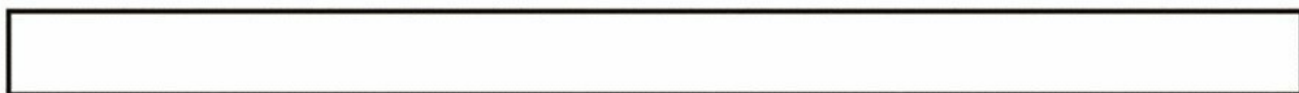


すべての
始まりの
ひとり
一人よ



…どこに行く
つもりだ？











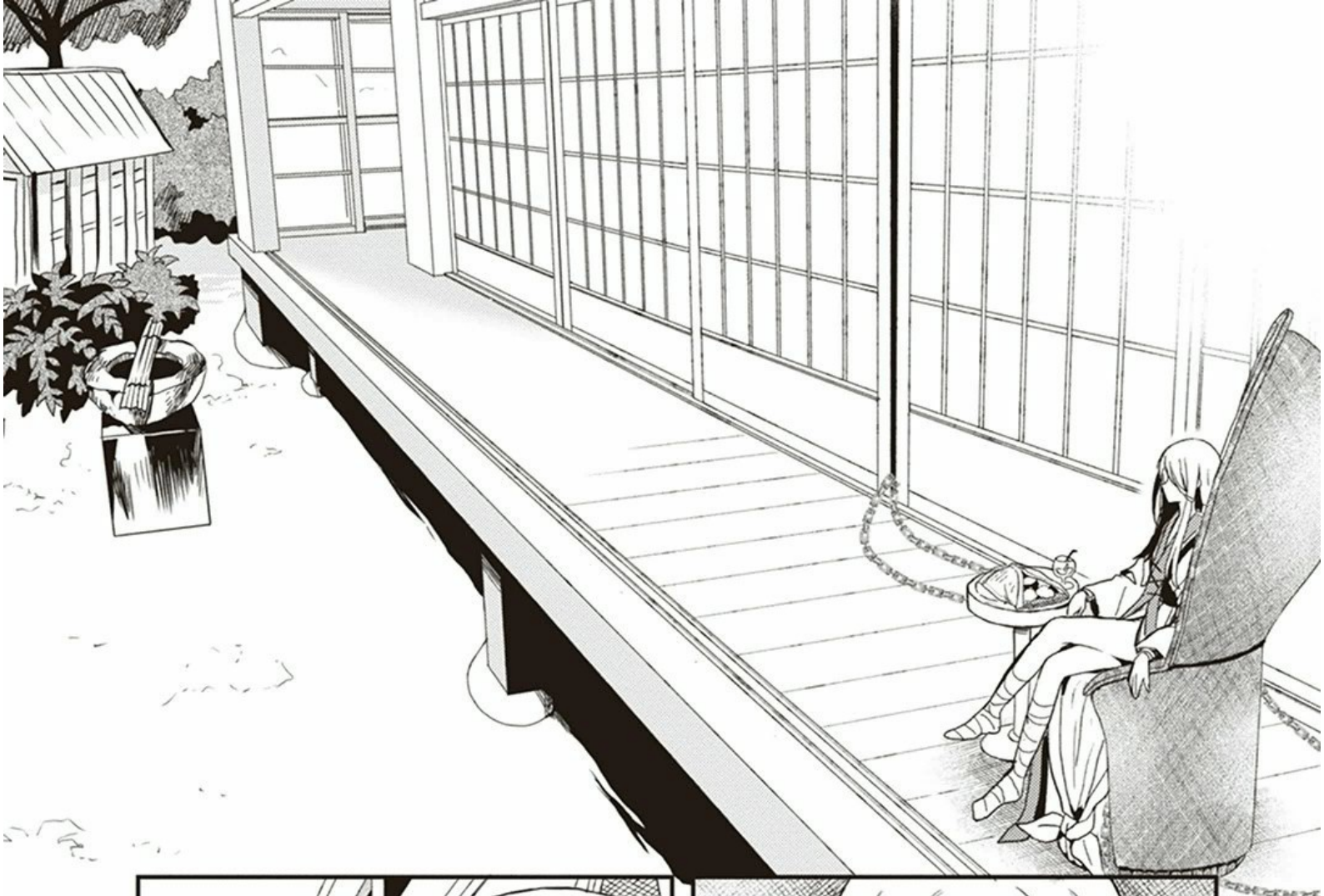


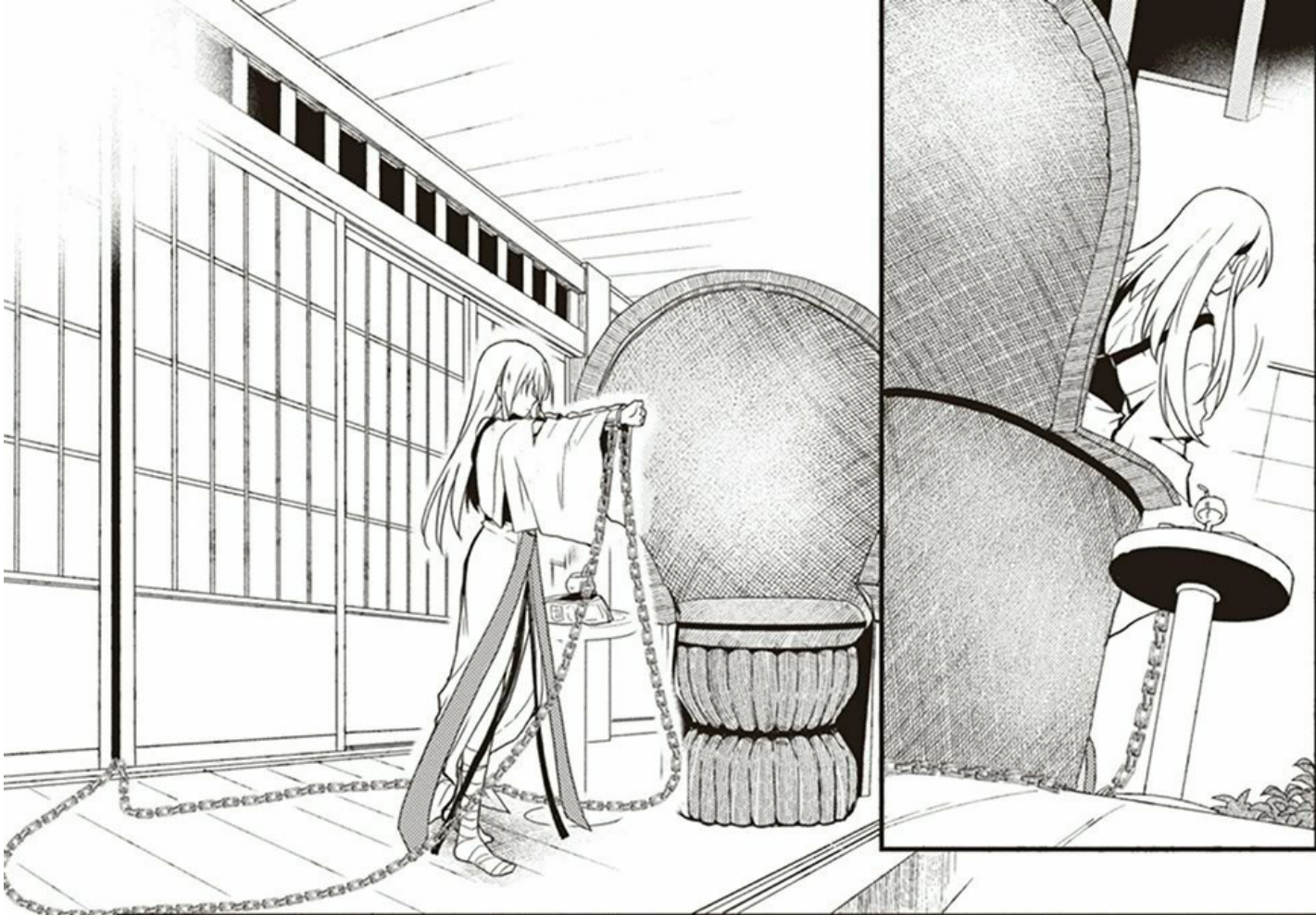


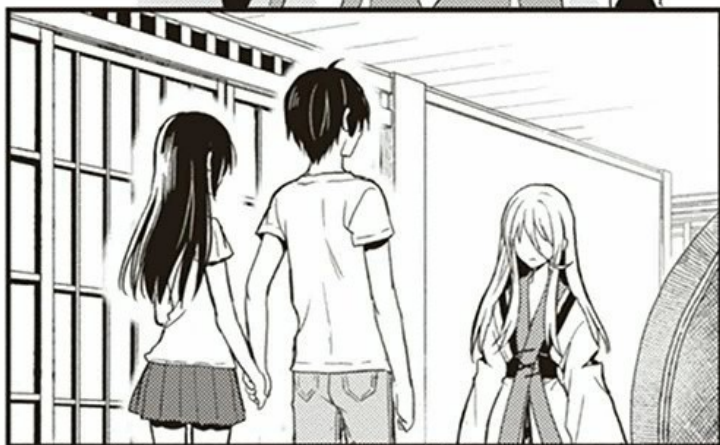
この島には
淫らで
邪惡な
モノが棲む

第十九話

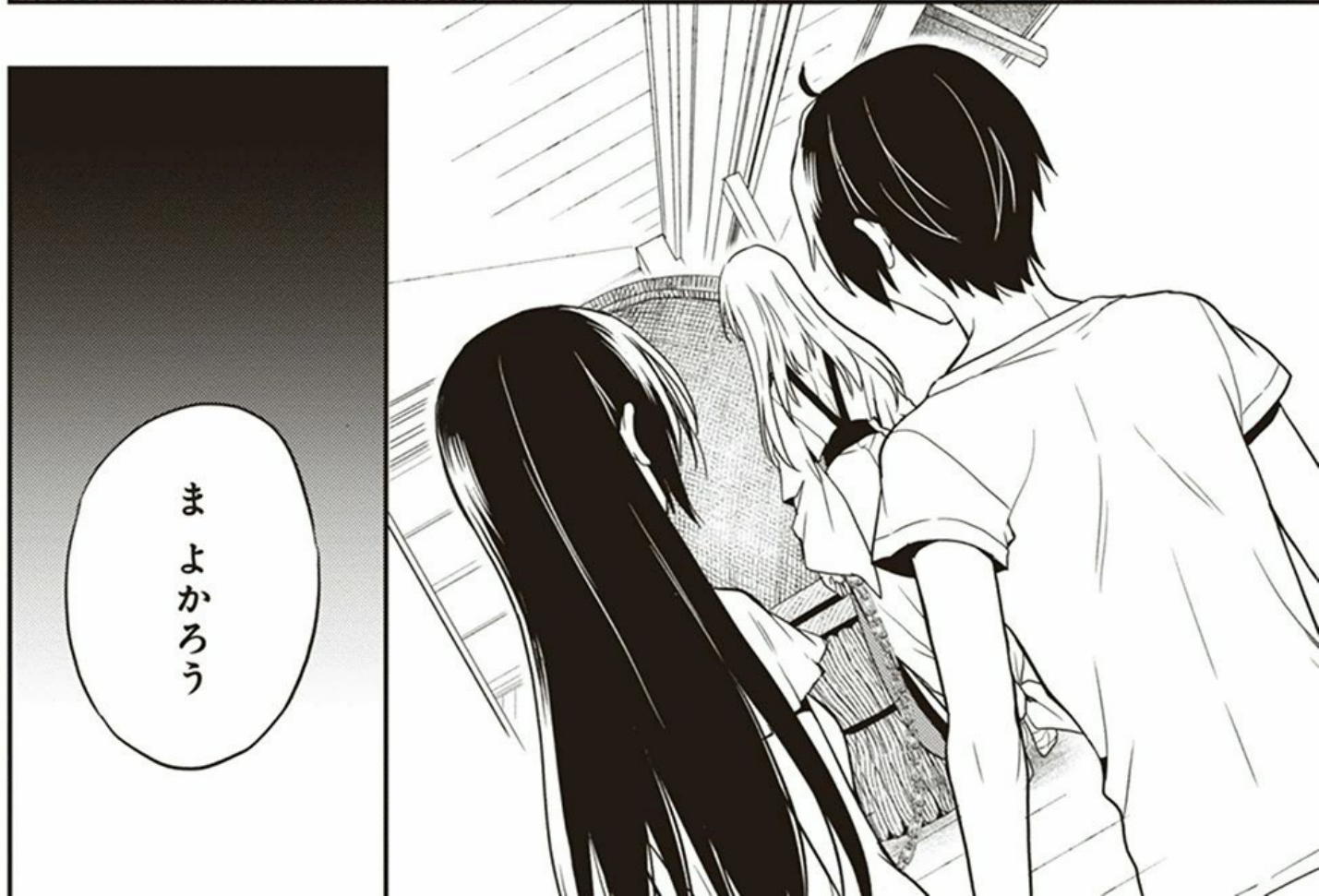












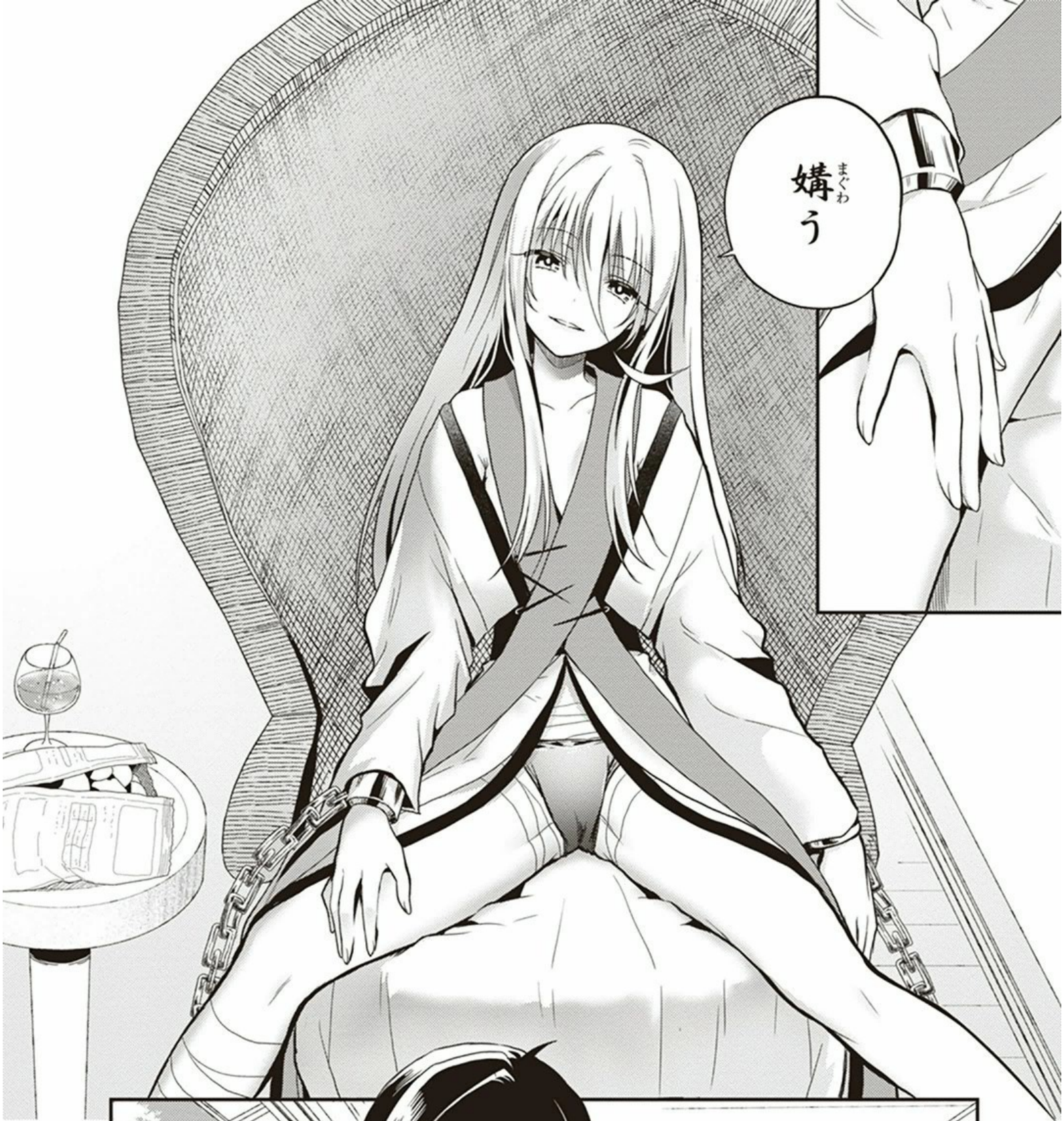














いちだい
一大えんたー
ていんめんと
じゃ



たけぞう
竹蔵も
いっておったが
わたし
私が始めた



いちろうた
一郎太が
あそこから
出てくるのは

その日だけ
だったからの





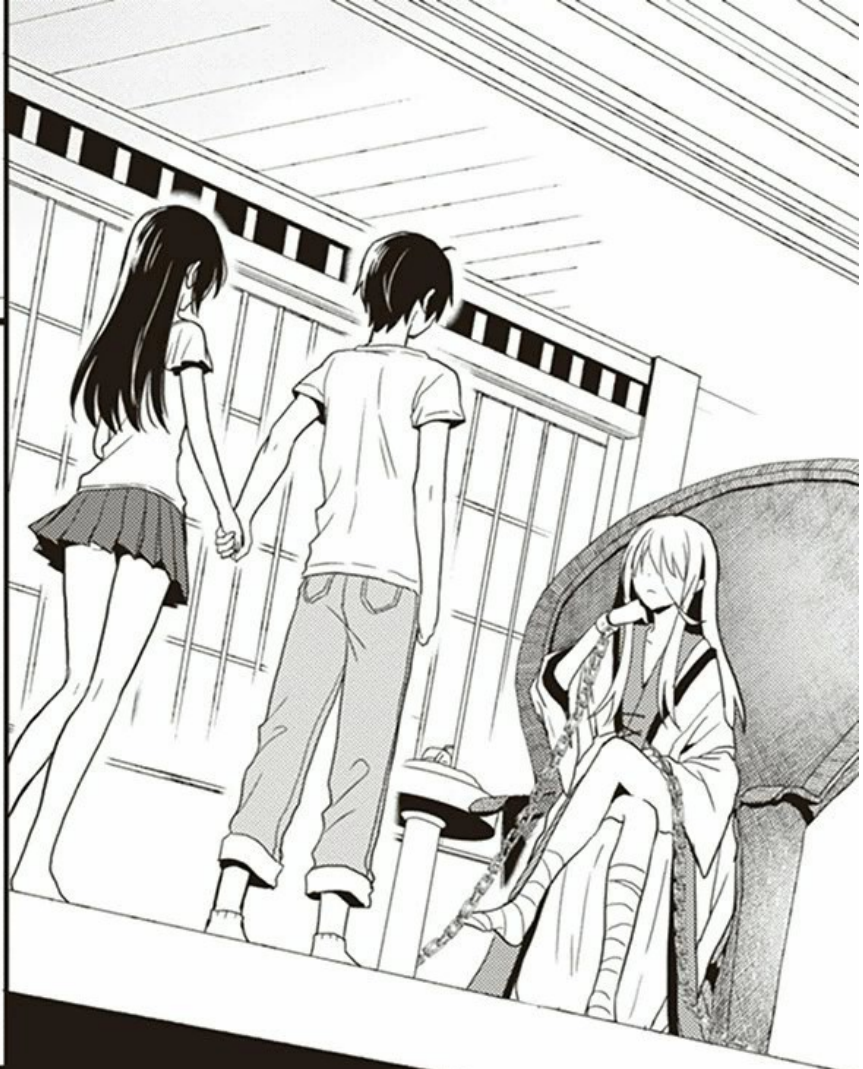
いっしょにさんか
一緒に参加すれば
よからう？

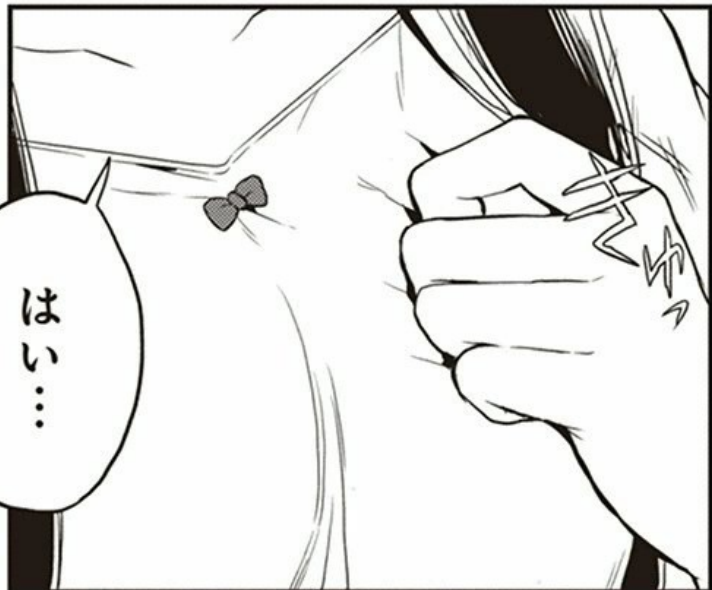
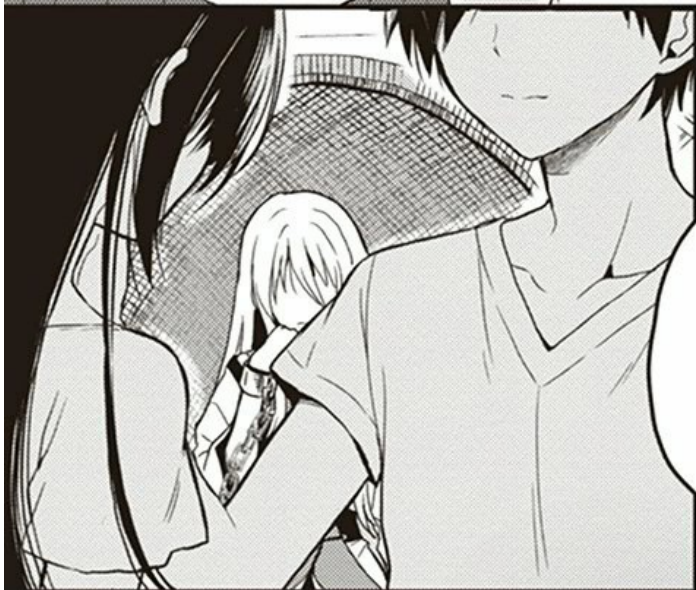


—ダメだ

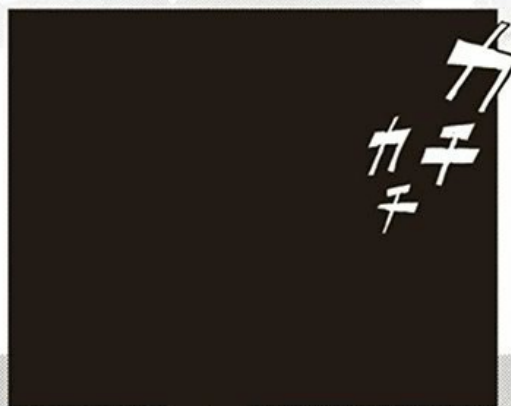
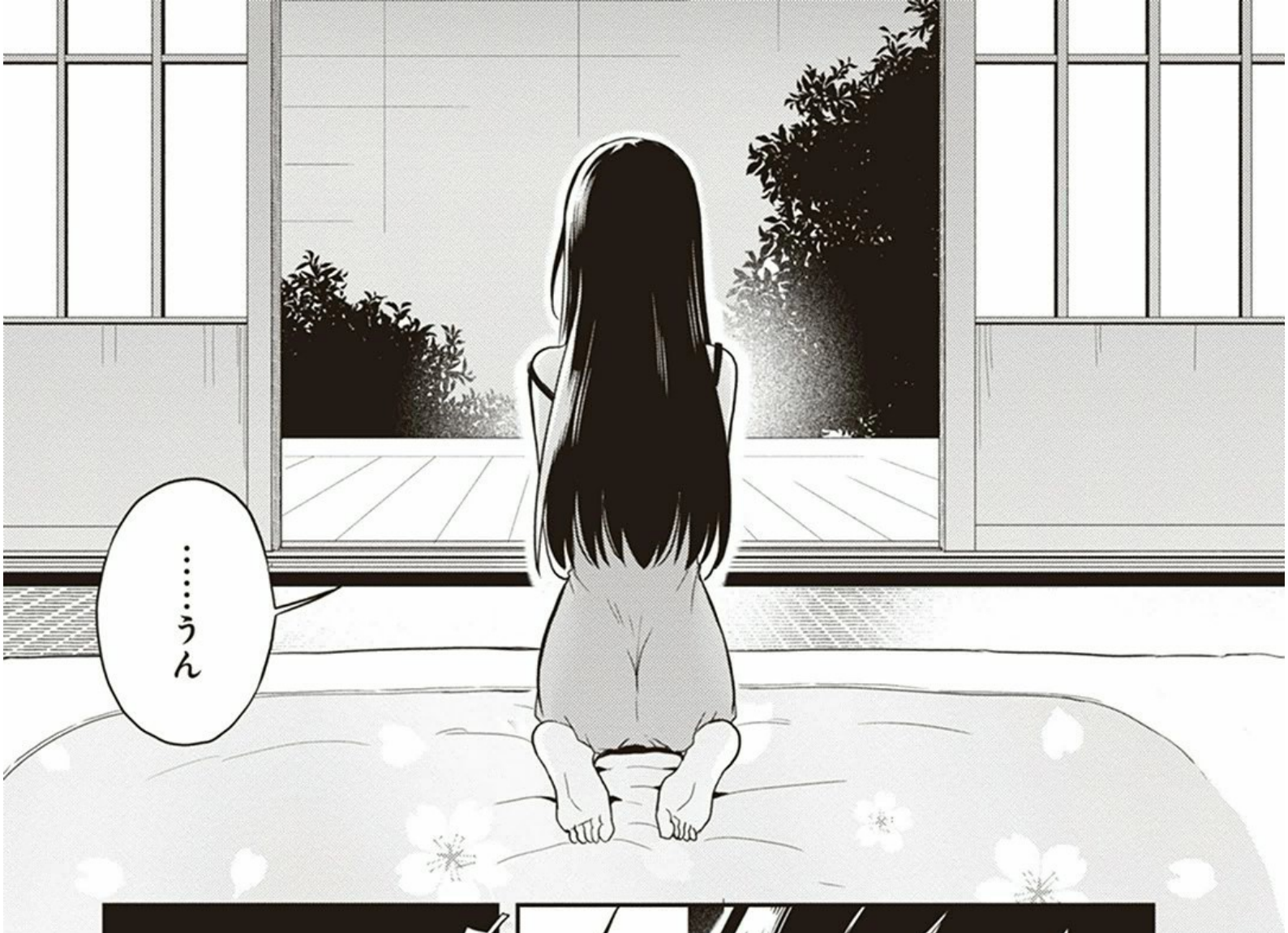


とうみん
島民との
よけい
余計な接触は
認めない



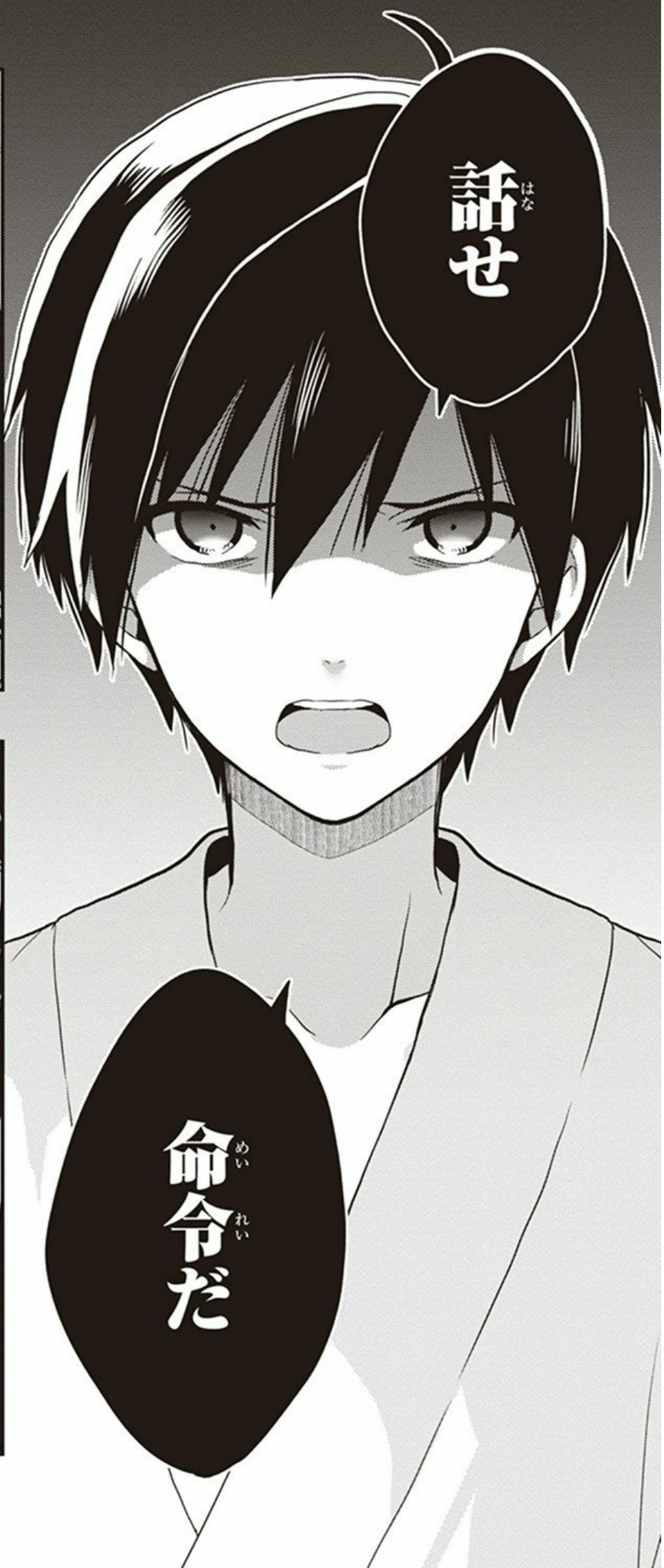


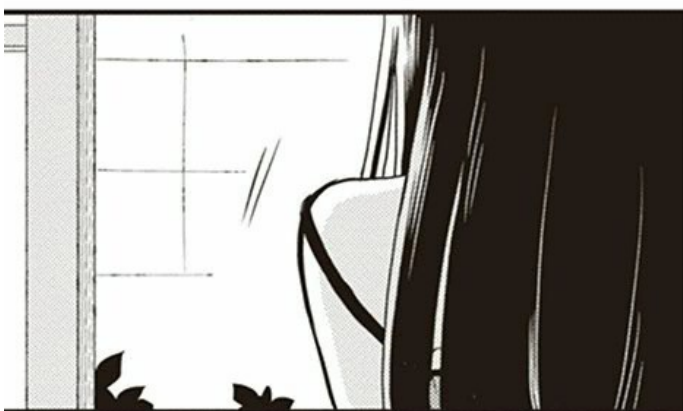
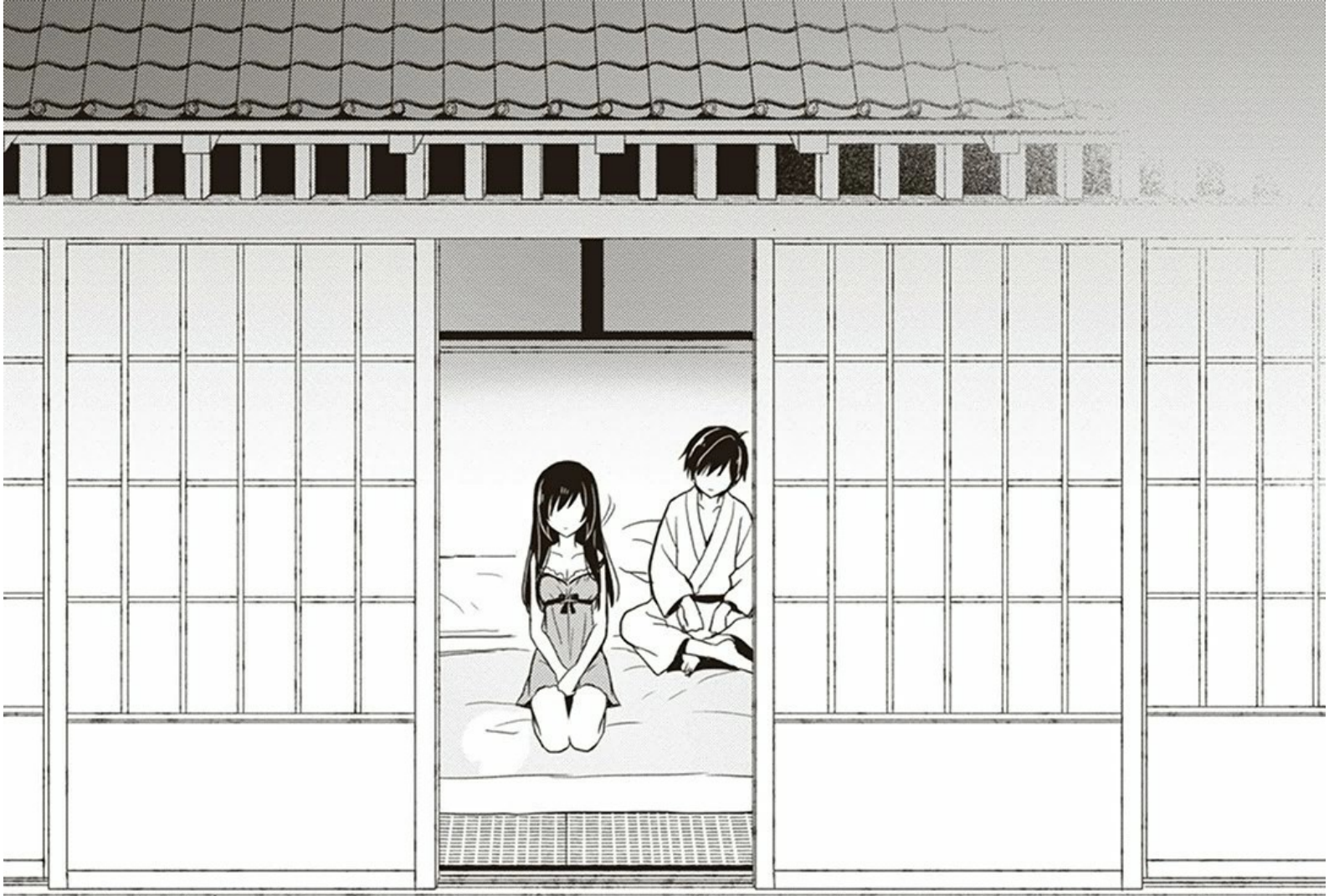












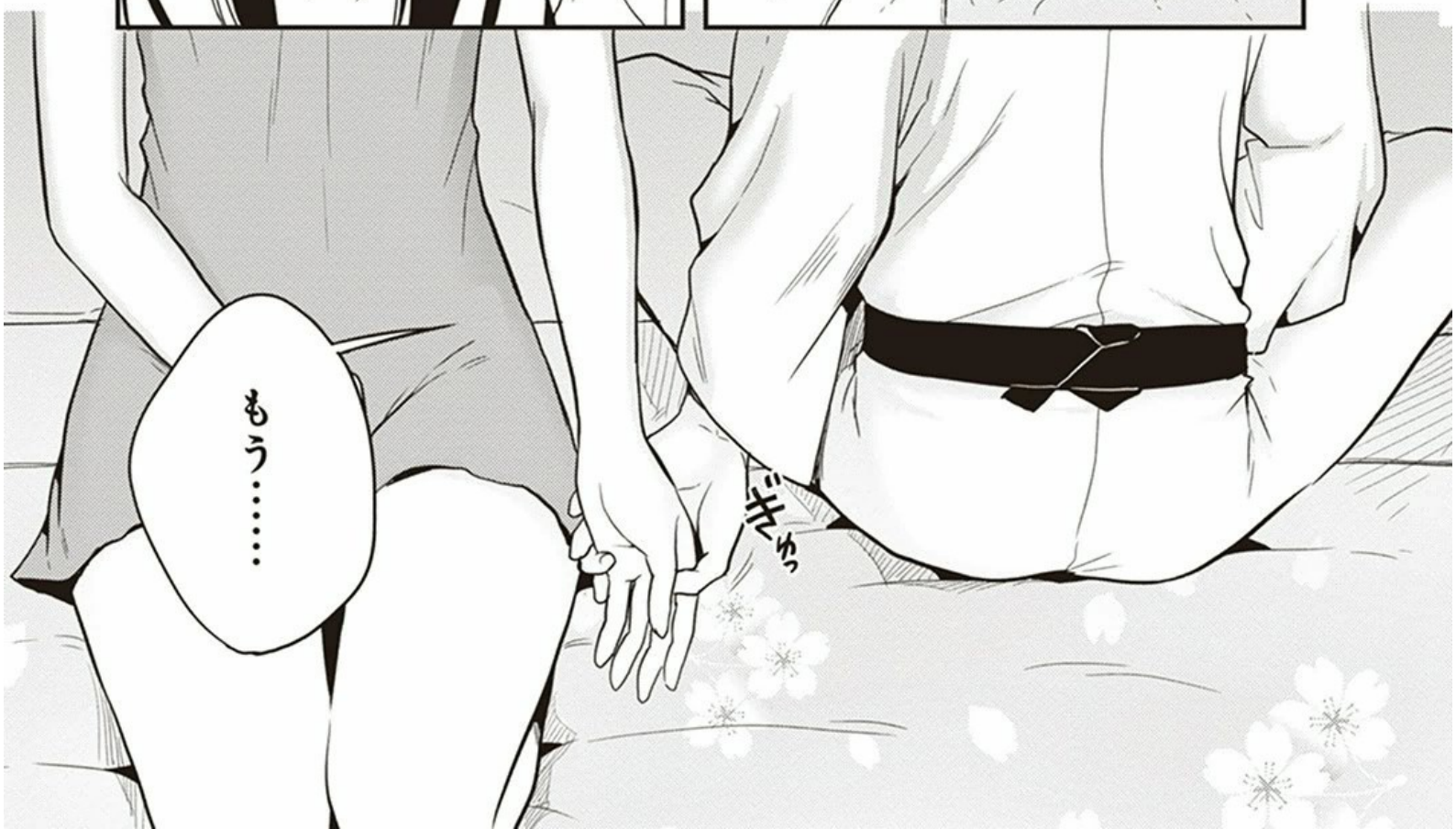




知るもんか



もう……





もう絶対^{ぜったい}に
裏切^{うらぎ}らないでくれ



……うん

五巻に続く……

この島には
淫らで
邪悪な
モノが棲む

次巻予告

熱を帯びる
淫らな行いと、
少女の柔肌。



すでに神通が
開いている旦那様は
通行手形を
持っているも同然

呪いの樹と
我らの魂は
繋がっている

我ら伊喜島の者が
構うのは単に
娯楽のためだけ
ではない

て手を
動かすなっ



旦那様も
脱げ



うっ……

ズッ



気をやれ

さあ

増幅する**快樂**の先——
“**絶頂**”のさらにその先で



青年を
待ち受ける
のは……？



この島には淫らで
邪悪なモノが棲む
第**5**巻 2016年夏頃発売予定

4

原

つ

も

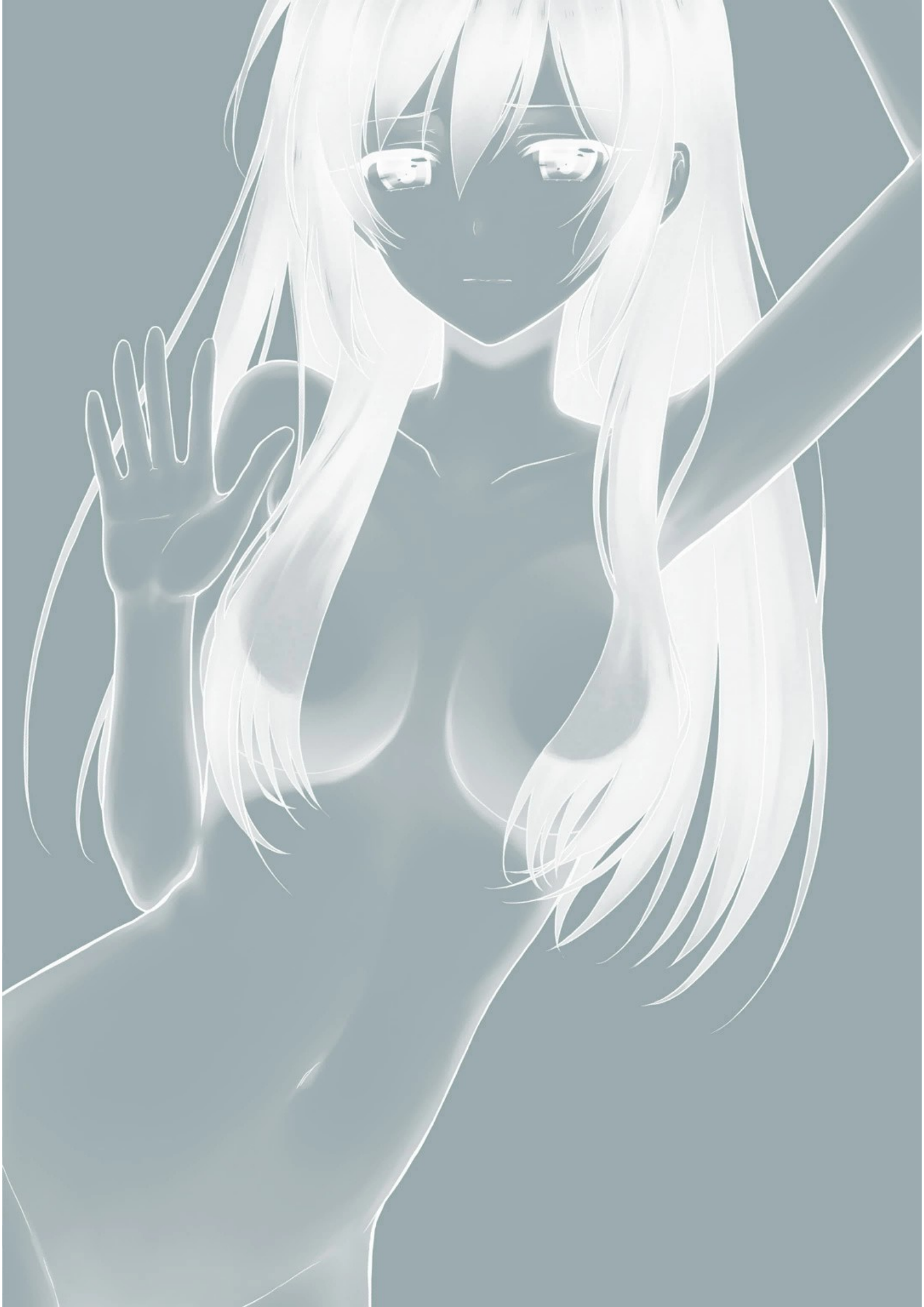


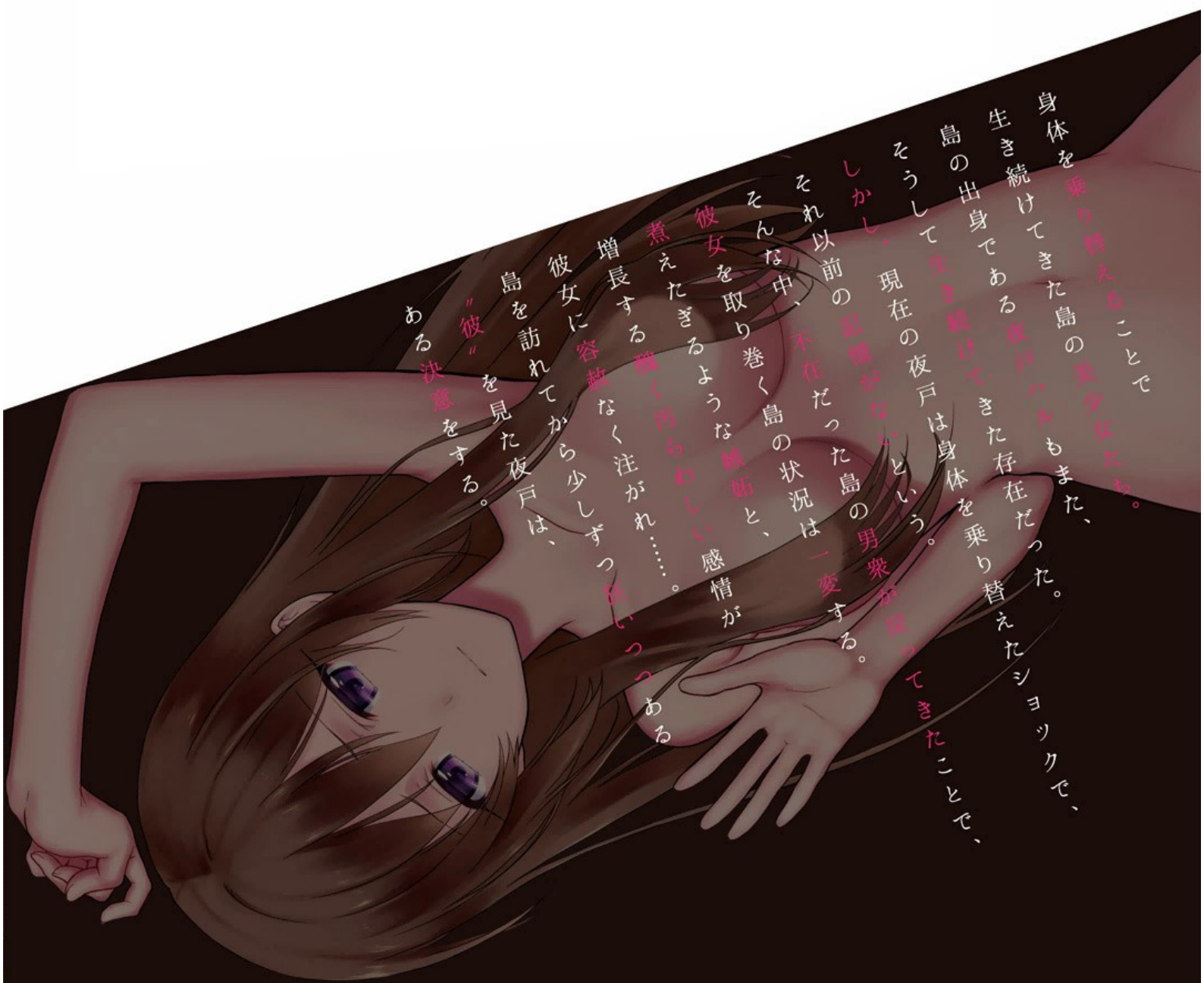
モ
ノ
カ
が
棲
む

邪
悪
な

淫
ら
で

こ
の
島
に
は





身体を乗り替えることで
生き続けてきた島の美少女たち。
島の出身である夜戸ハルもまた、
そうして生き続けてきた存在だった。
しかし、現在の夜戸は身体を乗り替えたショックで、
それ以前の記憶がないという。
そんな中、不在だった島の状況は一変する。
彼女を取り巻く島の人々との感情が
煮えたぎるような熱い感情が
増長する程に注がれ……
彼女に容赦なく注がれつつある
島を訪れてから少しずつ
“彼”を見た夜戸は、
ある決意をする。

本書（電子版）に掲載されているコンテンツ（ソフトウェア／プログラム／データ／情報を含む）の著作権およびその他の権利は、すべて株式会社 KADOKAWA および正当な権利を有する第三者に帰属しています。

法律の定めがある場合または権利者の明示的な承諾がある場合を除き、これらのコンテンツを複製・転載、改変・編集、翻案・翻訳、放送・出版、公衆送信（送信可能化を含む）・再配信、販売・頒布、貸与等に使用することはできません。



この島には淫らで邪悪なモノが棲む④

2015 年 12 月 19 日 発行

著者 原つもい

発行者 塚田正晃
発行 株式会社 KADOKAWA
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3
03-3238-8745 (営業)
<http://www.kadokawa.co.jp/>
プロデュース アスキー・メディアワークス
〒102-8584 東京都千代田区富士見 1-8-19
03-5216-8398 (編集)
<http://asciimw.jp/>

©2015 TSUMOI HARA

※2015 年 12 月 19 日発行の電撃コミックス「この島には淫らで邪悪なモノが棲む④」初版に基づき制作